

# 資料編

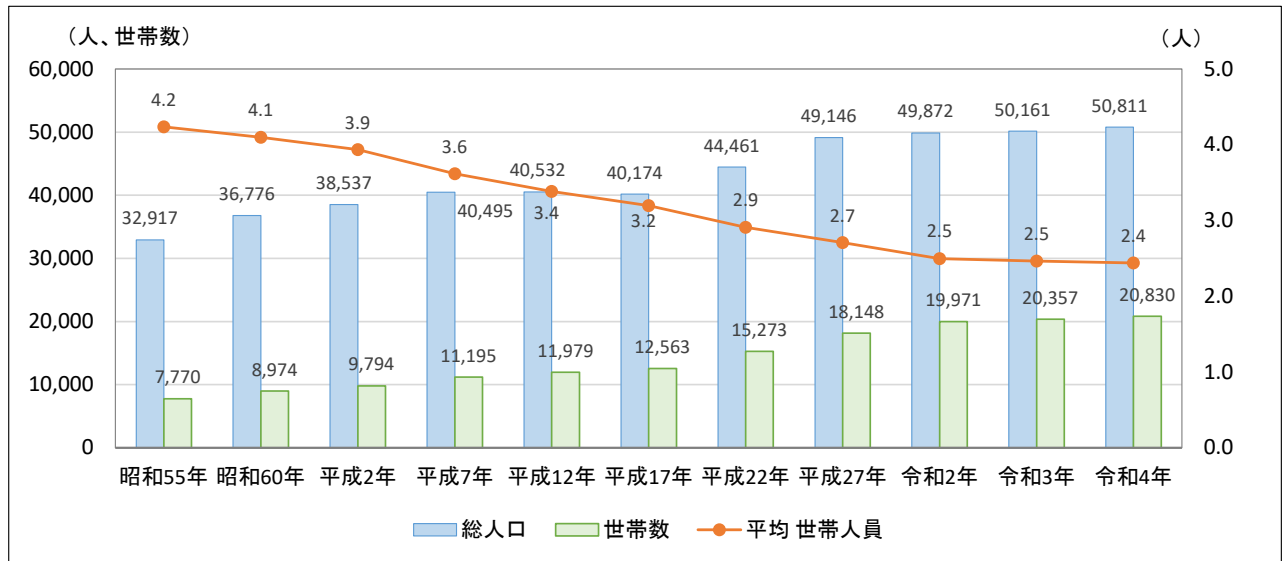
# 1 つくばみらい市の概況

## (1)人口・世帯等

### ①人口・世帯の推移

令和4年10月1日現在、常住人口は50,811人、世帯数は20,830世帯で、1世帯あたり人員は2.4人となっています。推移をみると、人口は平成17年に減少していますが、昭和55年以降おおむね増加傾向にあり、世帯数は常に増加しています。一方、1世帯あたりの人口は、昭和55年の4.2人から令和4年では2.4人へと大きく減少し、世帯の小規模化が進んでいることがうかがえます。

#### 【人口及び世帯数の推移】



資料:各年 国勢調査(令和3・4年は常住人口調査10月1日)

### ②年齢別(3区分)人口の推移

年齢3区分による人口及び人口割合は、令和2年では、0～14歳の年少人口が7,418人(14.9%)、15～64歳の生産年齢人口が28,663人(57.5%)、65歳以上の老年人口が13,791人(27.7%)となっています。人口の推移を見ると、年少人口は平成2年以降減少傾向にありましたが、平成22年には増加に転じています。生産年齢人口については平成2年から平成7年に約2,000人増加しましたが、平成17年までに約1,400人減少し、平成27年までに約2,700人の増加。その後令和2年までに約1,100人の減少と、大きく増減を繰り返しています。老年人口については平成2年から平成17年までの15年間で約3,000人増加し、その後令和2年までの15年間で約6,000人の増加がみられ、高齢化が進んでいることがうかがえます。

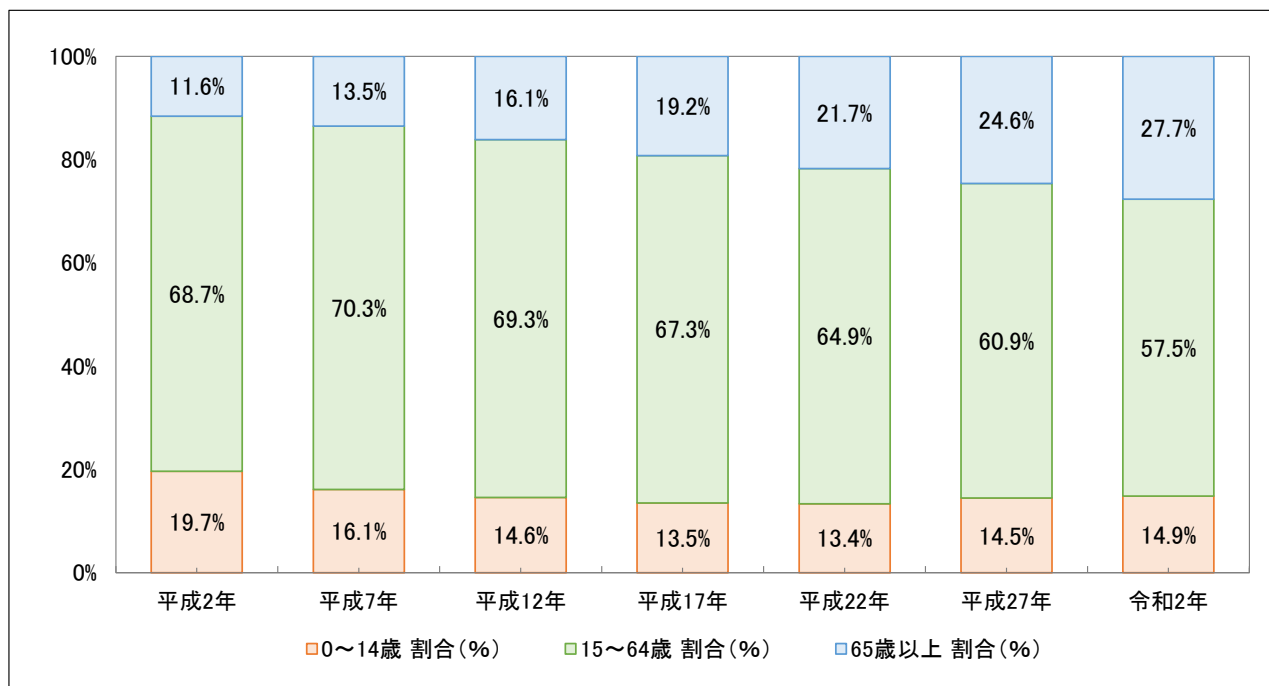
人口ピラミッド(5歳階級別人口)をみると、70歳代とその子どもの世代である40歳代が多くなっています。また、50歳代後半から60歳代、20歳代の人口が少なくなっています。

#### 【年齢別3区分人口の推移】

区分 年	総人口	0～14歳			15～64歳			65歳以上		
		人口(人)	増減数	割合(%)	人口(人)	増減数	割合(%)	人口(人)	増減数	割合(%)
平成2年	38,530	7,578	-	19.7%	26,483	-	68.7%	4,469	-	11.6%
平成7年	40,495	6,534	-1,044	16.1%	28,479	1,996	70.3%	5,482	1,013	13.5%
平成12年	40,528	5,906	-628	14.6%	28,079	-400	69.3%	6,543	1,061	16.1%
平成17年	40,174	5,428	-478	13.5%	27,024	-1,055	67.3%	7,722	1,179	19.2%
平成22年	44,442	5,940	512	13.4%	28,846	1,822	64.9%	9,656	1,934	21.7%
平成27年	48,888	7,071	1,131	14.5%	29,767	921	60.9%	12,050	2,394	24.6%
令和2年	49,872	7,418	347	14.9%	28,663	-1,104	57.5%	13,791	1,741	27.7%

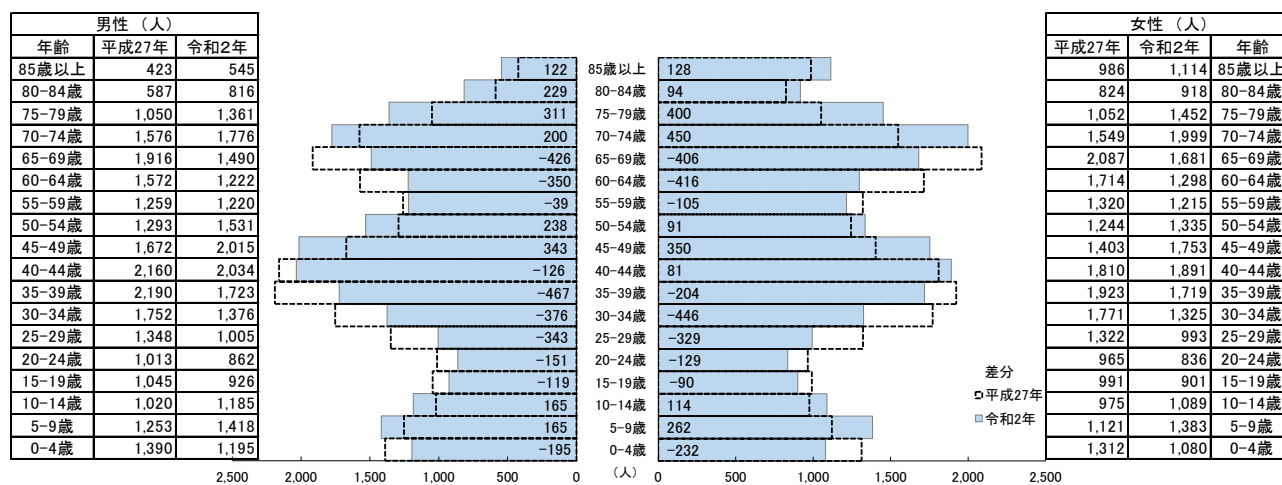
資料:各年 国勢調査

### 【年齢別 3 区分人口の割合の推移】



資料:各年 国勢調査

### 【人口ピラミッド(5 歳階級別人口)】



資料:国勢調査(平成27年・令和2年)

### ③地区別人口の推移

地区別人口では令和4年4月1日現在、みらい平が16,139人、小絹が約9,567人と多く、以下、板橋、谷井田、谷原、小張、豊、三島、福岡、十和、東となっています。特にニュータウンとして開発した小絹は平成12年以降は増加傾向でしたが、令和2年では一旦減少し、令和3年以降はまた増加しています。みらい平は平成17年にできた新しいまちで、つくばエクスプレスみらい平駅周辺に商業施設の出店や大規模マンションの立地が進み、人口増加が進んでいます。

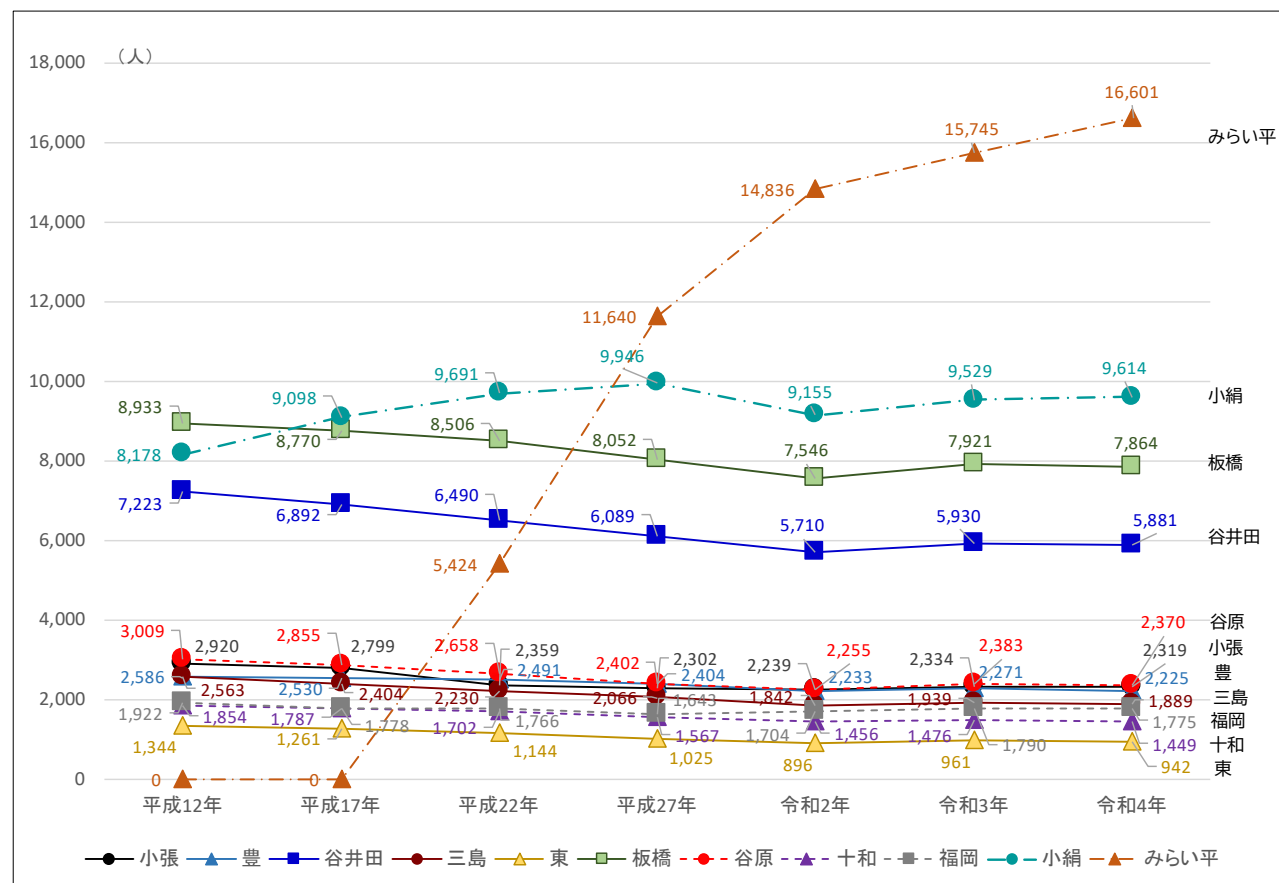
【地区別人口の推移】

(単位:人)

地区名	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和3年	令和4年
小張	2,920	2,799	2,359	2,302	2,239	2,334	2,319
豊	2,586	2,530	2,491	2,404	2,233	2,271	2,225
谷井田	7,223	6,892	6,490	6,089	5,710	5,930	5,881
三島	2,563	2,404	2,230	2,066	1,842	1,939	1,889
東	1,344	1,261	1,144	1,025	896	961	942
板橋	8,933	8,770	8,506	8,052	7,546	7,921	7,864
谷原	3,009	2,855	2,658	2,402	2,255	2,383	2,370
十和	1,854	1,787	1,702	1,567	1,456	1,476	1,449
福岡	1,922	1,778	1,766	1,643	1,704	1,790	1,775
小絹	8,178	9,098	9,691	9,946	9,155	9,529	9,614
みらい平	-	-	5,424	11,640	14,836	15,745	16,601
合計	40,532	40,174	44,461	49,136	49,872	52,279	52,929

資料:各年 国勢調査(令和3年・4年は住民基本台帳10月1日)

【地区別人口の推移】



資料:各年 国勢調査(令和3年・4年は住民基本台帳10月1日)

#### ④外国人登録者数の推移

外国人登録者数を国別に見ると、令和4年では、ベトナム、フィリピン、中国、ブラジルが上位を占めています。平成30年までは、中国の登録者数が最も多くなっていましたが、令和元年からフィリピンやベトナムの登録者数が上位となっています。全体の推移も平成27年以降大きく増加し、令和4年では753人と平成26年の378人に比べ約2倍となっており、コロナ禍のなかでも外国人登録者数は増加しています。

#### 【外国人登録者数(各年の上位5位)】

(単位:人)

	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	国名	登録者数	国名	登録者数	国名	登録者数	国名	登録者数	国名	登録者数
1	中国	71	中国	89	中国	84	中国	83	中国	113
2	韓国	60	フィリピン	65	フィリピン	70	フィリピン	81	フィリピン	96
3	フィリピン	56	韓国	57	韓国	58	韓国	71	ベトナム	76
4	ブラジル	42	ブラジル	38	ブラジル	49	ベトナム	64	韓国	72
5	ベトナム	14	台湾	17	ベトナム	33	ブラジル	51	ブラジル	55
-	総数	354	総数	378	総数	427	総数	507	総数	625

	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	国名	登録者数	国名	登録者数	国名	登録者数	国名	登録者数	国名	登録者数
1	中国	104	フィリピン	107	ベトナム	132	ベトナム	125	ベトナム	122
2	フィリピン	98	ベトナム	98	フィリピン	109	フィリピン	113	フィリピン	122
3	ベトナム	86	中国	88	中国	102	中国	103	中国	119
4	韓国	69	韓国	64	ブラジル	75	ブラジル	80	ブラジル	81
5	ブラジル	55	ブラジル	63	韓国	60	韓国	66	韓国	66
-	総数	585	総数	608	総数	664	総数	691	総数	753

資料:在留外国人統計(各年12月末・令和4年は6月末)

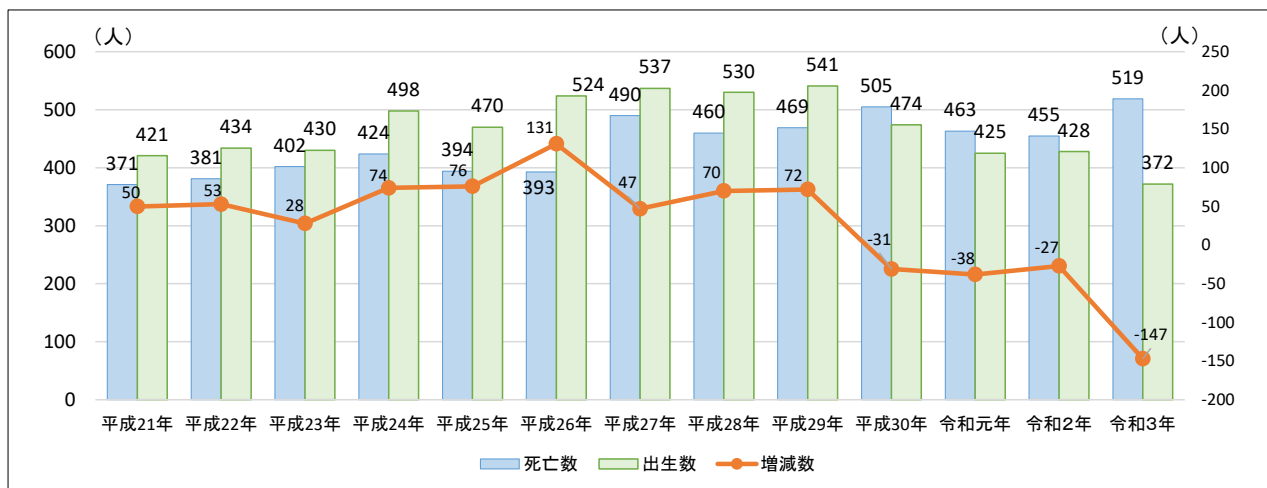
### (3)人口動態・通勤通学流動

#### ①人口動態(自然・社会動態)の推移

自然増については、平成29年までの出生数は概ね増加傾向にありましたが、平成30年に減少し、令和2年に微増に転じたものの、再び令和3年には大きく減少しています。死亡数は増減を繰り返していましたが、平成30年には500人を超え、死亡数が出生数を上回り、令和3年には死亡数が出生数を147人上回る自然減となっています。

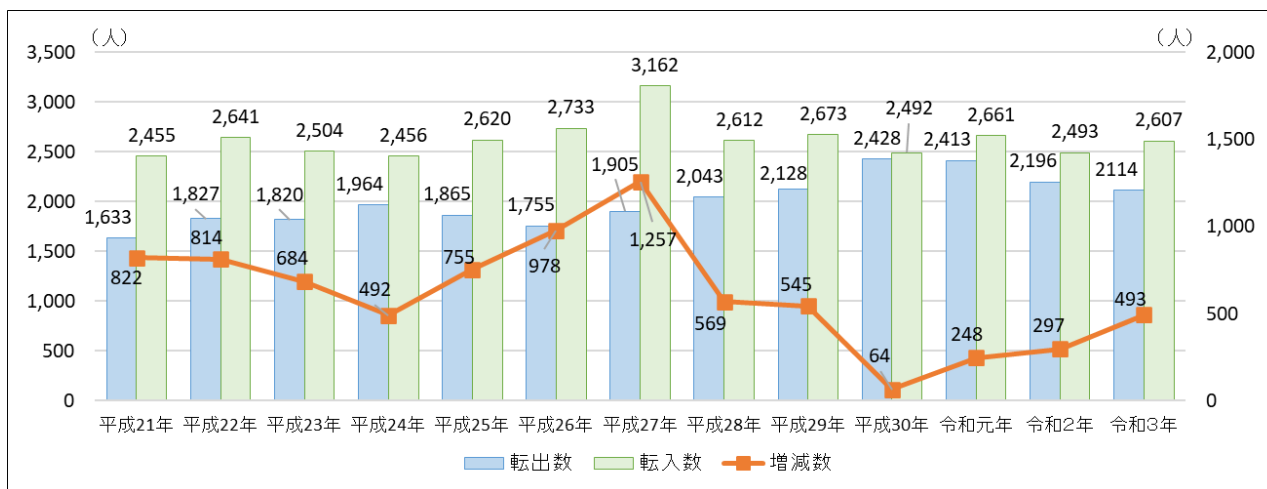
社会増については、過去10年以上は転入が転出を上回り増加を続けています。特に平成27年は転出数より転入数が大きく上回り、約1,200人の増加となっています。以降平成28年からは転入数が2,600人前後で推移していますが、平成30年では転出数も多く、増減の差は少なくなりました。令和元年以降は再度転入超過となっています。

#### 【自然動態の推移】



資料:人口動態統計

#### 【社会動態の推移】



資料:常住人口調査

## ②合計特殊出生率

合計特殊出生率※1は、平成25年から平成29年のベイズ推定値※2では1.65で、国の1.43、茨城県の1.46よりも高い数値となっています。

※1：合計特殊出生率とは、出産可能年齢(15～49歳)の女性に限定し、各年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯、何人の子供を産むのかを推計したもの

※2：ベイズ推定値とは、市の観測データ(人口及び出生数)と、二次医療圏単位で推定した変数とを総合化したもの

### 【合計特殊出生率(ベイズ推定値)】

		平成5-9年	平成10-14年	平成15-19年	平成20-24年	平成25-29年
国		1.42	1.36	1.31	1.38	1.43
茨城県		1.55	1.46	1.39	1.43	1.46
つくばみらい市	伊奈町	1.34	1.21	1.26	1.49	1.65
	谷和原村	1.59	1.49			

資料：人口動態保健所・市区町村別統計

## ③通勤通学の流入・流出

通勤通学の流入状況を見ると、つくば市、守谷市、常総市、取手市からの流入がみられます。つくば市からが約2,500人、守谷市からが約1,800人となっています。「他市町村に常住する者」が「本市に常住する者」より約5,000人上回っています。

通勤通学の流出状況についても、つくば市、守谷市、常総市、取手市が主な流出先となっています。特につくば市への通学者の流出が顕著となっています。「本市に常住する従業・通学する者」で「他市町村で従業・通学する者」が約1,700人、「本市で従業・通学する者」は約1,200と、市外に通勤通学する人の方が多くなっています。

### 【通勤通学の流入状況(15歳以上)】

(単位：人)

区 分	他市町村からつくばみらい市への流入			
	合 計			
		15歳以上通学者	15歳以上就業者	
本市で就業・通学する者	20,484	996	19,488	
本市に常住する者	5,996	420	5,576	
他市町村に常住する者	11,089	445	10,644	
茨城県	1 つくば市	2,533	114	2,419
	2 守谷市	1,815	135	1,680
	3 常総市	1,413	95	1,318
	4 取手市	1,230	72	1,158
	5 牛久市	454	1	453
千葉県	905	5	900	
埼玉県	331	1	330	
東京都	224	4	220	

※本市で従業・通学する者には、従業地・通学地「不詳」で、本市に常住している者を含む。

資料：国勢調査(令和2年10月1日現在)

## 【通勤通学の流入状況(15歳以上)】

(単位:人)

区分		つくばみらい市から他市町村への流出		
		合計	15歳以上通学者	15歳以上就業者
本市に常住する就業者・通学者		26,411	1,866	24,545
本市で従業・通学する者		5,996	420	5,576
他市町村で従業・通学する者		17,387	1,386	16,001
茨城県	1 つくば市	3,401	208	3,193
	2 守谷市	2,271	43	2,228
	3 常総市	1,911	140	1,771
	4 取手市	1,453	154	1,299
	5 土浦市	482	124	358
東京都		3,551	266	3,285
千葉県		1,594	193	1,401
埼玉県		394	36	358

※本市に従業・通学する者には従業地・通学地「不詳」を含む。

※他市区町村に従業・通学で、従業地・通学地「不詳」を含む。

資料:国勢調査(令和2年10月1日現在)

## ④近隣市(隣接)の人口・世帯及び年少人口の推移

本市と隣接する市町村の総人口は、いずれも本市の総人口を上回っています。特に平成27年から令和2年の増減率で見ると、総人口及び年少人口では、つくば市、守谷市が増加しており、取手市、龍ヶ崎市、常総市では減少しています。牛久市は総人口の増減はほとんどありませんが、年少人口は減少しています。また、世帯数では全市で増加しており、本市の増加率はつくば市に次いで高く、守谷市と同じ割合になっています。

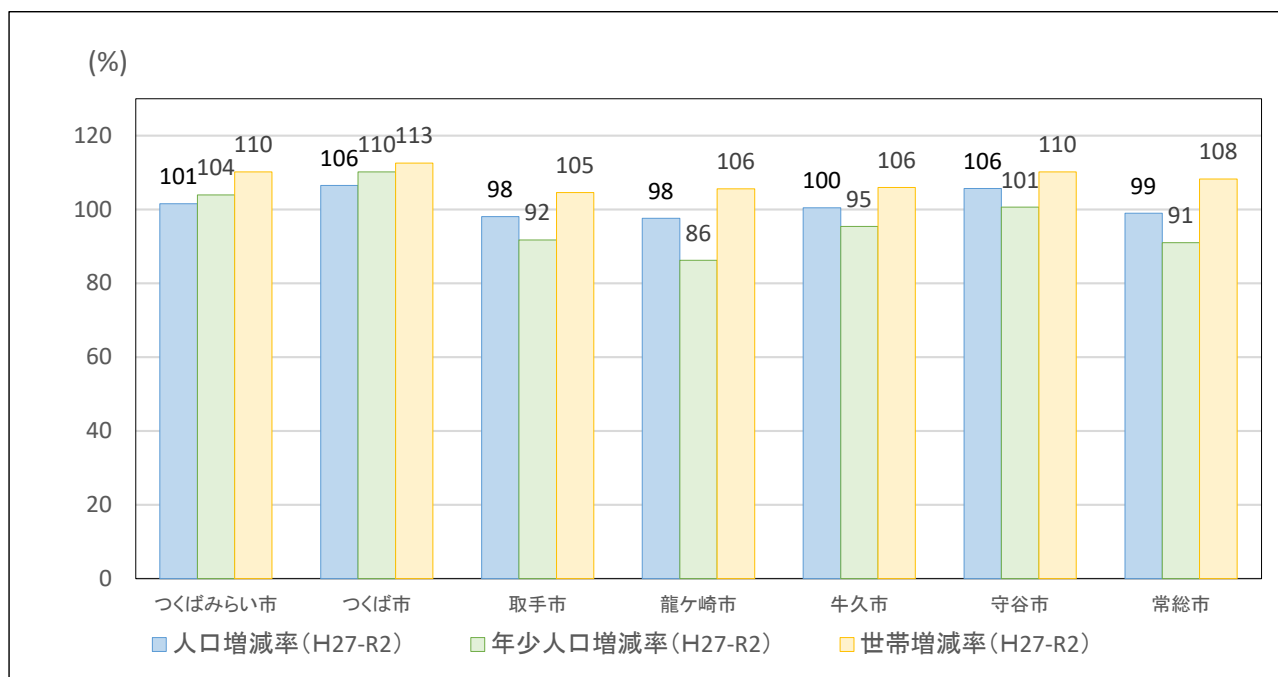
## 【近隣市人口・年少人口・世帯数の増減率】

	総人口 (人)		年少人口(0歳～14歳) (人)		世帯数 (世帯)	
		増減率 (H27-R2)		増減率 (H27-R2)		増減率 (H27-R2)
つくばみらい市	49,872	101%	7,350	104%	19,971	110%
つくば市	241,656	106%	34,645	110%	110,490	113%
取手市	104,524	98%	10,593	92%	45,447	105%
龍ヶ崎市	76,420	98%	8,264	86%	32,158	106%
牛久市	84,651	100%	10,834	95%	35,195	106%
守谷市	68,421	106%	10,301	101%	27,385	110%
常総市	60,834	99%	6,942	91%	22,289	108%

資料:国勢調査(平成27年・令和2年)



【近隣市人口・年少人口・世帯数の増減率】



資料：国勢調査(平成27年・令和2年)

## 2 つくばみらい市の教育の現状(学校教育・生涯学習)

### (1) 学校教育

#### ① 幼児教育の状況

幼稚園・認定こども園は、平成24年度に4箇所であったものが、みらい平地区を中心とした人口増加にともなって、平成27年度に6箇所、平成28年度からは8箇所となっています。園児数も平成24年の627人から平成30年には1,130人と2倍近くまで増えていますが、その後は減少し、令和4年では849人となっています。園児数の急速な増加に合わせ、全体の定員数は平成24年の650人から平成29年には1,429人に増加しています。平成27年は定員を超える園児数となりましたが、平成28年以降は定員数の増加と新たな認定こども園の開園などにより、定員超過は解消されています。現在は総園児数が減少傾向にあり、各園は定員に余裕があります。

#### 【幼稚園施設数の推移】

単位:園

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市内施設数	4	4	4	6	8	8	8	8	8	8

資料:学校総務課

#### 【幼稚園園児数の推移】

単位:人

幼稚園・認定こども園		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
わかくさ幼稚園	園児数	235	221	215	231	211	200	210	203	171	142	104
すみれ幼稚園	園児数	121	124	112	104	94	85	91	79	72	64	61
谷和原幼稚園	園児数	191	190	179	169	173	176	173	177	155	144	124
絹ふたば文化幼稚園	園児数	-	-	-	329	324	313	297	280	273	258	247
	(1号認定)	-	-	-	-	-	-	297	280	190	258	247
認定こども園ふたばランド	園児数	80	85	82	139	137	136	131	123	122	115	127
	(1号認定)	-	-	-	84	81	91	92	79	81	77	85
富士見ヶ丘認定こども園	園児数	-	-	-	47	76	77	99	72	75	77	79
	(1号認定)	-	-	-	17	26	36	35	35	31	35	39
みらい認定こども園	園児数	-	-	-	-	14	22	23	24	19	25	24
	(1号認定)	-	-	-	-	2	2	3	2	4	2	0
認定こども園ルンビニー学園	園児数	-	-	-	-	41	80	106	93	89	84	83
	(1号認定)	-	-	-	-	23	35	41	33	29	29	27
園児合計		627	620	588	1,019	1,070	1,089	1,130	1,051	976	909	849
(1号認定者数)					101	132	164	468	429	335	401	398

資料:学校総務課(各年5月1日現在)

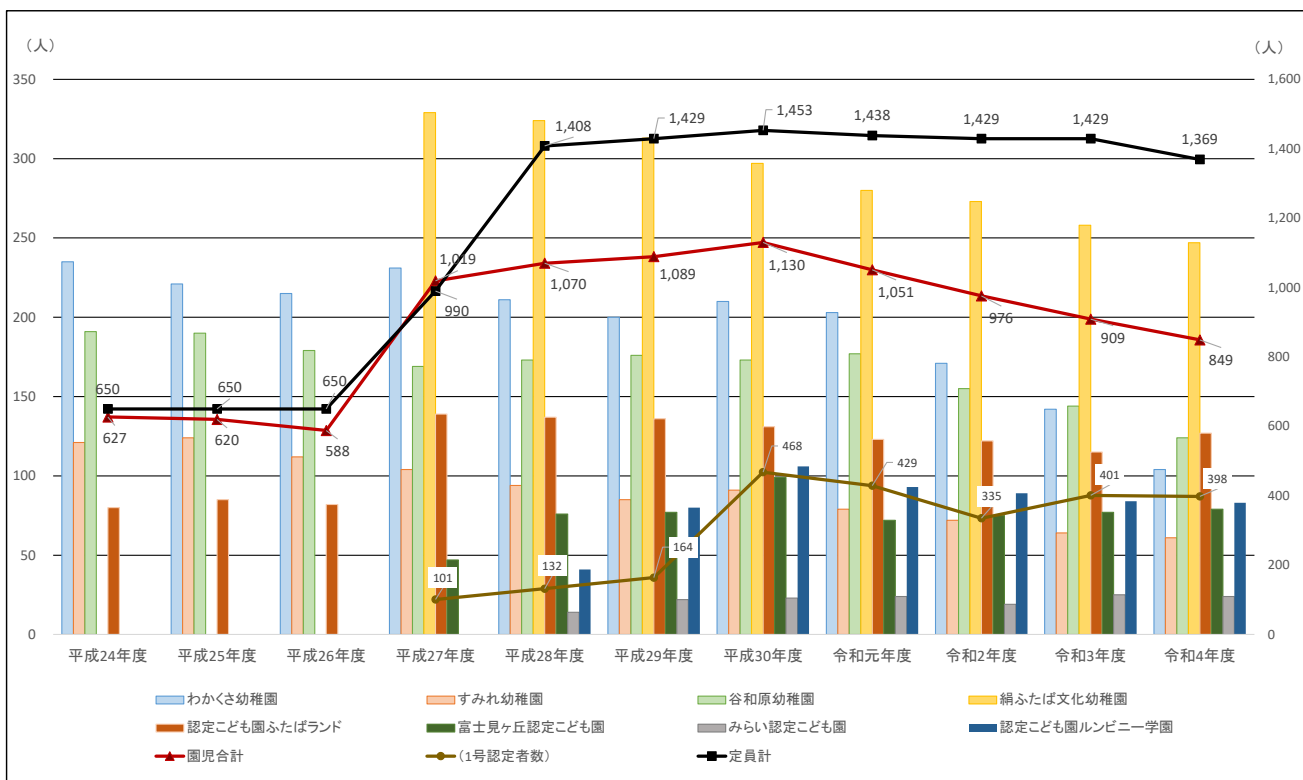
#### 【幼稚園定員数の推移】

単位:人

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
わかくさ幼稚園	240	240	240	240	240	240	240	240	240	240	240
すみれ幼稚園	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	100
谷和原幼稚園	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
絹ふたば文化幼稚園	-	-	-	305	345	345	345	345	345	345	345
認定こども園ふたばランド	70	70	70	70	170	170	170	170	170	170	170
富士見ヶ丘認定こども園	-	-	-	35	95	95	99	99	99	99	95
みらい認定こども園	-	-	-	-	114	114	114	114	114	114	114
認定こども園ルンビニー学園	-	-	-	-	104	125	145	130	121	125	125
定員合計	650	650	650	990	1,408	1,429	1,453	1,438	1,429	1,429	1,369

資料:学校総務課(各年5月1日現在)

【幼稚園園児数及び定員数の推移】



②幼稚園の施設の状況

幼稚園・認定こども園の施設の状況については、すみれ幼稚園の園舎が平成25年度に、わかくさ幼稚園の園舎が平成27年度にそれぞれ耐震改修され、私立幼稚園や認定こども園を含め市内の全施設は耐震基準を満たしています。

【幼稚園施設の状況(建物)】

令和4年5月1日現在

施設名	棟名称	構造	階数	建築年月	面積(m <sup>2</sup> )	付属施設
わかくさ幼稚園	園舎(旧三島小校舎)	RC	3	S54.3	2,388	H27改修済
	体育館	S	2	S55.2	754	H18改修済
すみれ幼稚園	園舎(旧東小校舎)	RC	3	S56.3	1,758	H25改修済
	体育館	S	2	S57.3	715	耐震基準適合
谷和原幼稚園	園舎	S	2	H23.3	1,063	耐震基準適合
絹ふたば文化幼稚園	ログハウス	W	1	H3	131	耐震基準適合
	園舎・事務局棟	S	2	H9	452	耐震基準適合
	にこにこハウス	W	1	H17	82	耐震基準適合
	園舎・ホール・本館	S	2	H27	921	耐震基準適合
認定こども園ふたばランド	園舎	W	1	H20	846	耐震基準適合
富士見ヶ丘認定こども園	園舎	S	2	H26	757	耐震基準適合
みらい認定こども園	園舎	S	2	H28	925	耐震基準適合
認定こども園ルンビニー学園	園舎	S	2	H28	1,103	耐震基準適合

資料:学校総務課

### ③小・中学校児童生徒数の推移

小学校は、地域によって各校児童数に差がみられることから学校再編を行い、令和2年4月に谷井田小学校及び三島小学校を統合し、伊奈小学校が開校しました。同じく令和2年4月に、板橋小学校と東小学校を統合し、伊奈東小学校として開校しました。伊奈小学校は旧谷井田小学校の校舎を利用し、伊奈東小学校は旧板橋小学校を使用しています。一方、つくばエクスプレス線沿線開発のみらい平地区は児童の増加が続き、平成27年に陽光台小学校が開校し、さらに平成30年には富士見ヶ丘小学校が開校しました。現在の市立小学校は10校となっています。私立では、開智望小学校・中等教育学校が平成27年に開校しています。

小張小学校や谷原小学校、十和小学校、福岡小学校の4校では児童数が減少しています。そのほかの小絹小学校など既存地区においても、少子化などの影響により児童の減少傾向が続いています。このように、児童数が少ない小学校に対し、陽光台小学校や富士見ヶ丘小学校は1,000人前後の児童数となっています。

中学校については、市内に4校あり、平成30年から生徒数が増加傾向となっています。特に伊奈中学校は平成30年から令和4年の間に生徒数が約2倍にまで増えています。一方で、伊奈東中学校や小絹中学校では減少傾向となっています。

#### 【小学校数の推移】

単位:校

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市立	10	10	10	10	11	12	11	12	12	10	10	10
私立					1	1	1	1	1	1	1	1

資料:学校基本調査

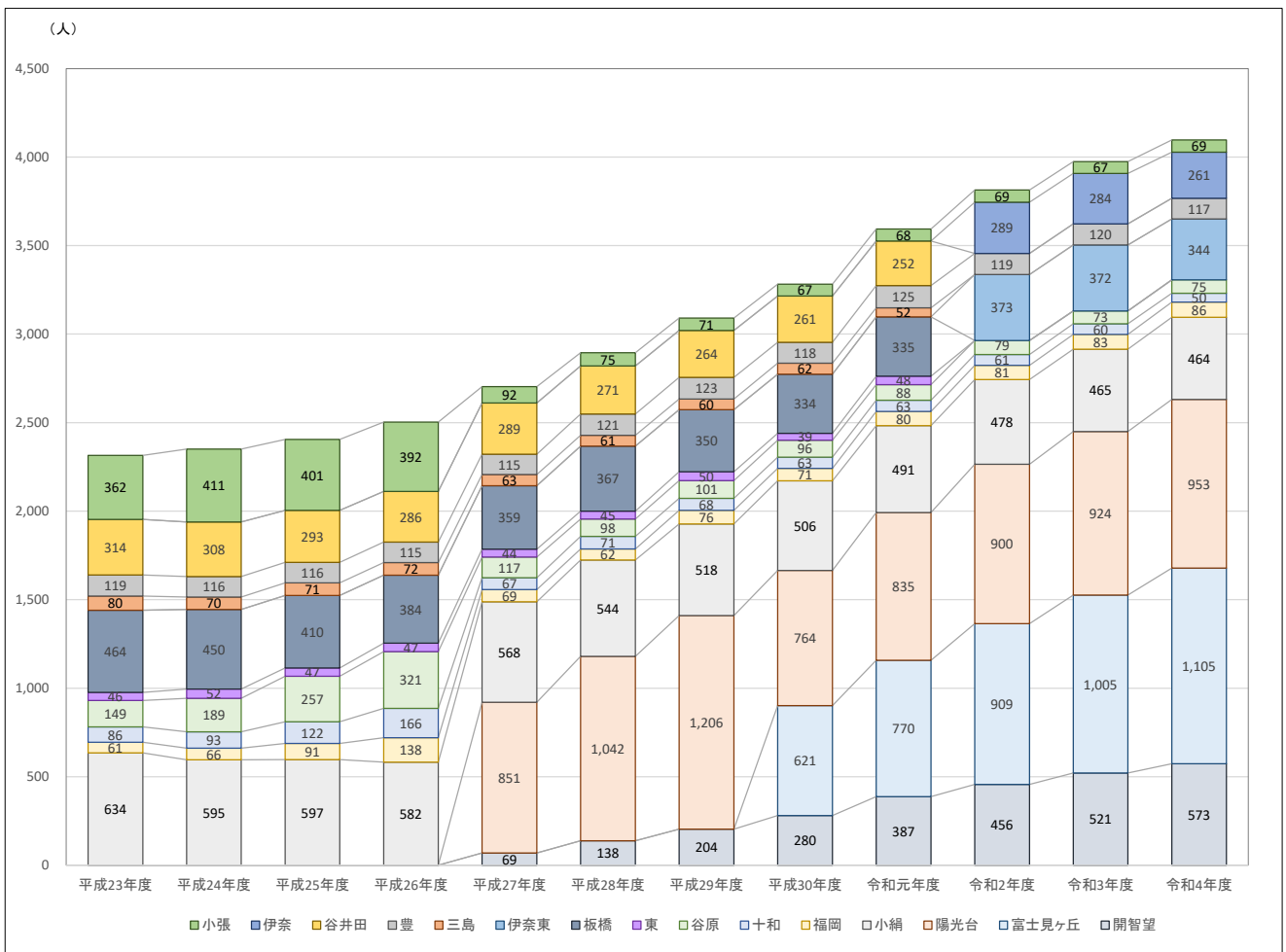
#### 【小学校児童数(学校別)の推移】

単位:人

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小張	362	411	401	392	92	75	71	67	68	69	67	69
伊奈	-	-	-	-	-	-	-	-	-	289	284	261
谷井田	314	308	293	286	289	271	264	261	252	-	-	-
豊	119	116	116	115	115	121	123	118	125	119	120	117
三島	80	70	71	72	63	61	60	62	52	-	-	-
伊奈東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	373	372	344
板橋	464	450	410	384	359	367	350	334	335	-	-	-
東	46	52	47	47	44	45	50	39	48	-	-	-
谷原	149	189	257	321	117	98	101	96	88	79	73	75
十和	86	93	122	166	67	71	68	63	63	61	60	50
福岡	61	66	91	138	69	62	76	71	80	81	83	86
小絹	634	595	597	582	568	544	518	506	491	478	465	464
陽光台	-	-	-	-	851	1,042	1,206	764	835	900	924	953
富士見ヶ丘	-	-	-	-	-	-	-	621	770	909	1,005	1,105
開智望	-	-	-	-	69	138	204	280	387	456	521	573
合計	2,315	2,350	2,405	2,503	2,703	2,895	3,091	3,282	3,594	3,814	3,974	4,097

資料:学校基本調査(各年5月1日現在)

【小学校 児童数(学校別)の推移】



【中学校数の推移】

単位:校

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
中学校数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

資料:学校基本調査

【中学校 生徒数(学年別)の推移】

単位:人

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1年生	364	381	363	357	373	371	396	395	442	436	472
2年生	390	365	381	362	355	373	370	396	397	443	439
3年生	375	394	362	383	364	353	374	372	399	397	442
合計	1,129	1,140	1,106	1,102	1,092	1,097	1,140	1,163	1,238	1,276	1,353

資料:学校基本調査(各年5月1日現在)

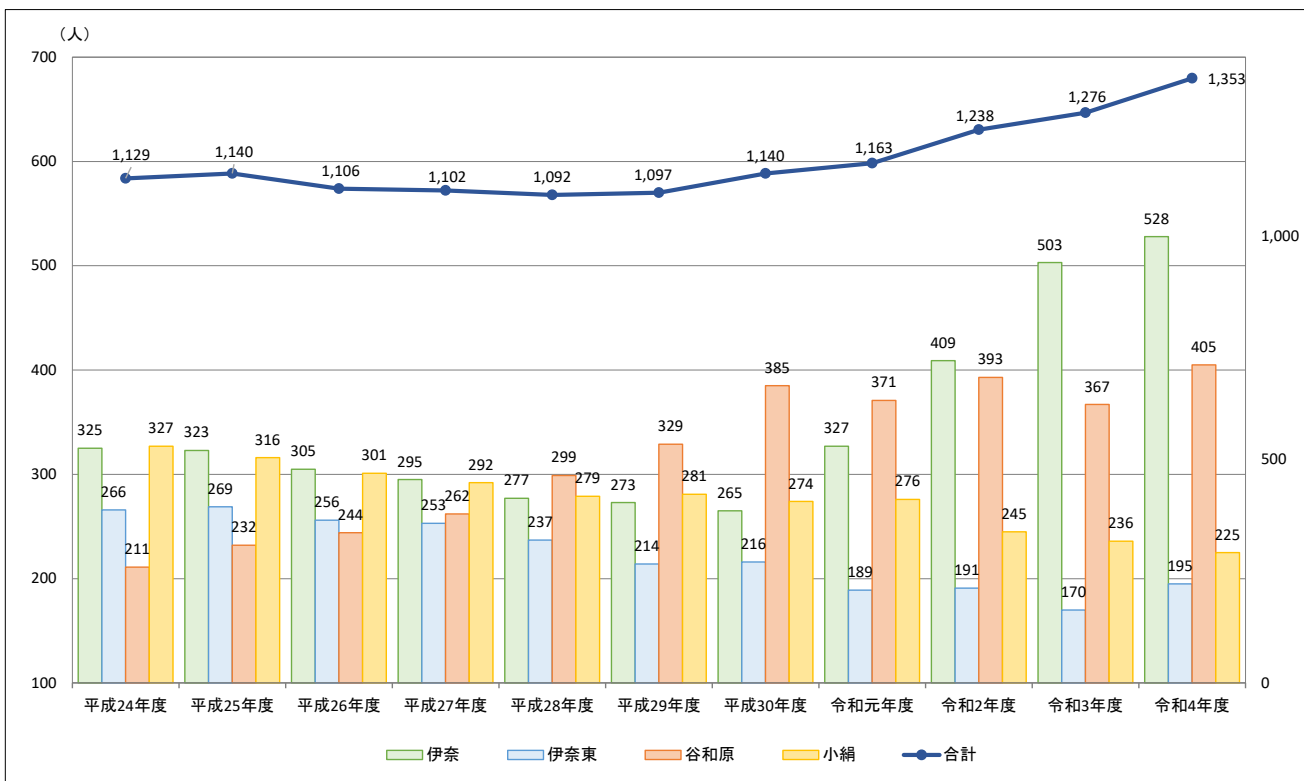
【中学校 生徒数(学校別)の推移】

単位:人

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
伊奈	325	323	305	295	277	273	265	327	409	503	528
伊奈東	266	269	256	253	237	214	216	189	191	170	195
谷和原	211	232	244	262	299	329	385	371	393	367	405
小絹	327	316	301	292	279	281	274	276	245	236	225
合計	1,129	1,140	1,106	1,102	1,092	1,097	1,140	1,163	1,238	1,276	1,353

資料:学校基本調査(各年5月1日現在)

【中学校 生徒数(学校別)の推移】



## 【小学校の状況】(令和4年度)

単位:人

施設名		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	合計
小張小学校	男	7	7	8	5	3	7	37
	女	4	3	5	7	7	6	32
	内特別支援	1	1	2	0	1	1	6
	計	11	10	13	12	10	13	69
伊奈小学校	男	13	24	21	24	35	23	140
	女	19	18	15	21	25	23	121
	内特別支援	0	1	3	3	2	0	9
	計	32	42	36	45	60	46	261
豊小学校	男	8	14	7	10	5	9	53
	女	11	8	11	15	7	12	64
	内特別支援	0	0	1	3	1	3	8
	計	19	22	18	25	12	21	117
伊奈東小学校	男	31	29	29	32	21	28	170
	女	26	22	33	38	23	32	174
	内特別支援	0	5	9	2	3	7	26
	計	57	51	62	70	44	60	344
谷原小学校	男	4	5	4	4	11	10	38
	女	6	11	4	4	3	9	37
	内特別支援	0	1	0	0	2	2	5
	計	10	16	8	8	14	19	75
十和小学校	男	5	4	2	4	5	1	21
	女	1	3	8	7	5	5	29
	内特別支援	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	7	10	11	10	6	50
福岡小学校	男	4	10	8	8	3	9	42
	女	8	7	4	9	5	11	44
	内特別支援	0	1	1	0	0	3	5
	計	12	17	12	17	8	20	86
小絹小学校	男	38	30	36	40	46	42	232
	女	44	28	40	46	34	40	232
	内特別支援	1	6	6	9	7	2	31
	計	82	58	76	86	80	82	464
陽光台小学校	男	77	100	97	80	84	77	515
	女	74	67	78	90	71	58	438
	内特別支援	1	6	5	3	3	7	25
	計	151	167	175	170	155	135	953
富士見ヶ丘小学校	男	106	93	113	115	80	61	568
	女	98	101	105	81	83	69	537
	内特別支援	4	7	7	14	7	3	42
	計	204	194	218	196	163	130	1,105
開智望小学校	男	59	49	53	42	50	36	289
	女	59	54	53	44	40	34	284
	内特別支援	0	0	0	0	0	0	0
	計	118	103	106	86	90	70	573
合計	男	352	365	378	364	343	303	2,105
	女	350	322	356	362	303	299	1,992
	内特別支援	7	28	34	34	26	28	157
	計	702	687	734	726	646	602	4,097

資料:学校基本調査(各年5月1日現在)

## 【中学校の状況】(令和4年度)

単位:人

施設名		第1学年	第2学年	第3学年	合計
伊奈中学校	男	99	96	91	286
	女	80	87	75	242
	内特別支援	6	3	10	19
	計	179	183	166	528
伊奈東中学校	男	40	26	33	99
	女	38	22	36	96
	内特別支援	8	5	3	16
	計	78	48	69	195
谷和原中学校	男	70	67	59	196
	女	70	61	78	209
	内特別支援	8	5	5	18
	計	140	128	137	405
小絹中学校	男	37	38	40	115
	女	38	42	30	110
	内特別支援	3	6	2	11
	計	75	80	70	225
合計	男	246	227	223	696
	女	226	212	219	657
	内特別支援	25	19	20	64
	計	472	439	442	1,353

資料:学校基本調査(各年5月1日現在)



#### ④小中学校の施設の状況

小中学校の校舎など施設については、すべて耐震対策が施されています。

##### 【小学校施設の状況(建物)】

施設名	棟名称	構造	階数	建築年月	面積(m <sup>2</sup> )	耐震化状況
小張小学校	校舎	RC	3	S55.3	2,682	H23改修済
	体育館	S	2	S53.2	764	H16改修済
伊奈小学校	教室棟(1階)	RC	2	S50.2	553	耐震基準適合
	体育館(2階)	S	2	S50.2	468	H14改修済
	管理教室棟	RC	3	S51.3	1,721	H25改修済
	教室棟	RC	3	S55.3	1,425	耐震基準適合
	教室棟	RC	4	S57.3	622	耐震基準適合
	体育館	S	2	S58.2	972	耐震基準適合
豊小学校	校舎	RC	3	S53.12	2,396	H24改修済
	体育館	S	2	S52.3	754	H20改修済
伊奈東小学校	教室棟	RC	2	S39.3	501	耐震基準適合
	教室棟	RC	2	S39.7	479	耐震基準適合
	教室棟(廊下)	S	2	S61.9	308	耐震基準適合
	教室棟	RC	3	S49.1	929	H22改修済
	教室棟(廊下)	S	3	S61.9	251	耐震基準適合
	管理教室棟	RC	3	S54.3	1,274	H22改修済
	教室棟	RC	3	S57.3	1,079	耐震基準適合
	体育館	S	2	S54.2	976	H12改修済
谷原小学校	管理特別教室棟	RC	3	S59.3	2,060	耐震基準適合
	教室棟	RC	3	H3.2	297	耐震基準適合
	教室棟(廊下)	RC	3	H3.2	1	耐震基準適合
	教室棟(廊下)	RC	3	H13.11	30	耐震基準適合
	体育館	S	2	S53.3	773	H18改修済
十和小学校	校舎	RC	3	S57.3	1,842	耐震基準適合
	体育館	S	2	S54.3	773	H19改修済
福岡小学校	校舎	RC	3	S57.3	1,842	耐震基準適合
	体育館	S	2	S53.3	773	H14改修済
小絹小学校	管理教室	RC	2	S48.2	1,234	H10改修済
	管理教室棟	RC	3	S61.3	1,884	耐震基準適合
	教室棟(廊下)	RC	3	H5.3	11	耐震基準適合
	教室棟	RC	3	H5.3	1,373	耐震基準適合
	体育館	S	2	S53.3	784	H14改修済
陽光台小学校	校舎	R・W	2	H27.2	9,173	耐震基準適合
	体育館	R	2	H27.3	1,437	耐震基準適合
富士見ヶ丘小学校	校舎	RC	3	H29.12	7,755	耐震基準適合
	第2校舎	S	2	R4.3	895	耐震基準適合
	体育館	RC	3	H29.12	1,586	耐震基準適合

資料：学校総務課(各年5月1日現在)

【小学校施設の状況(建物)】

施設名	校地面積(m <sup>2</sup> )		校舎延床面積(m <sup>2</sup> )	教室数		
		運動場面積		普通教室 (収容人数)	特別教室	
小張小学校	26,516	15,377	3,022	7	(245)	10
伊奈小学校	21,930	12,406	4,472	13	(455)	16
豊小学校	11,673	5,834	2,468	8	(280)	8
伊奈東小学校	22,699	10,618	4,976	17	(595)	12
谷原小学校	12,066	5,796	2,449	6	(210)	7
十和小学校	11,870	4,243	2,027	6	(210)	7
福岡小学校	9,553	4,293	2,005	7	(245)	7
小絹小学校	29,822	12,770	4,804	19	(665)	14
陽光台小学校	25,001	7,876	9,557	32	(1,120)	11
富士見ヶ丘小学校	29,946	11,730	8,744	44	(1,254)	10

※陽光台小学校及び富士見ヶ丘小学校の特別教室には、理科室、音楽室、図画工作室、メディアセンター、(コンピューター室、図書室)以外に視聴覚室、地域サポートセンター、多目的室等を含める。

資料:学校総務課(各年5月1日現在)

【中学校施設の状況】

施設名	棟名称	構造	階数	建築年月	面積(m <sup>2</sup> )	耐震化状況
伊奈中学校	管理教室棟	RC	3	S48.3	3,002	H27改修済
	特別室棟	RC	3	S48.9	727	H27改修済
	教室棟	RC	3	S55.3	1,939	H27改修済
	渡り廊下1	RC	3	S55.3	70	耐震基準適合
	渡り廊下2	S	3	H29.3	93	H28改修済
	体育館	S	2	S46.12	1,222	H9改修済
伊奈東中学校	管理教室棟	RC	3	S60.3	4,961	耐震基準適合
	特別教室棟	RC	1	S60.3	225	耐震基準適合
	体育館	RC	1	S60.3	1,171	耐震基準適合
谷和原中学校	教室棟	RC	3	S44.5	1,325	H25改修済
	管理棟	RC	3	S44.10	1,570	H25改修済
	技術棟	S	1	H26.3	276	耐震基準適合
	体育館	RC	2	H12.8	1,455	耐震基準適合
小絹中学校	管理教室棟	RC	3	H6.3	1,977	耐震基準適合
	管理教室棟	RC	3	H6.3	669	耐震基準適合
	特別教室棟	RC	3	H6.3	1,638	耐震基準適合
	技術棟	RC	1	H6.3	259	耐震基準適合
	体育館	RC	1	H6.3	1,206	耐震基準適合

資料:学校総務課(各年5月1日現在)

【学校教育施設配置図】



### ⑤高等学校の現況

つくばみらい市には、茨城県立伊奈高等学校が1校設置されています。生徒数は、学年別、全生徒数ともに、ほぼ横ばいで推移しています。

#### 【高等学校数】

単位：校

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
高校数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

資料：学校基本調査結果報告書(各年5月1日現在)

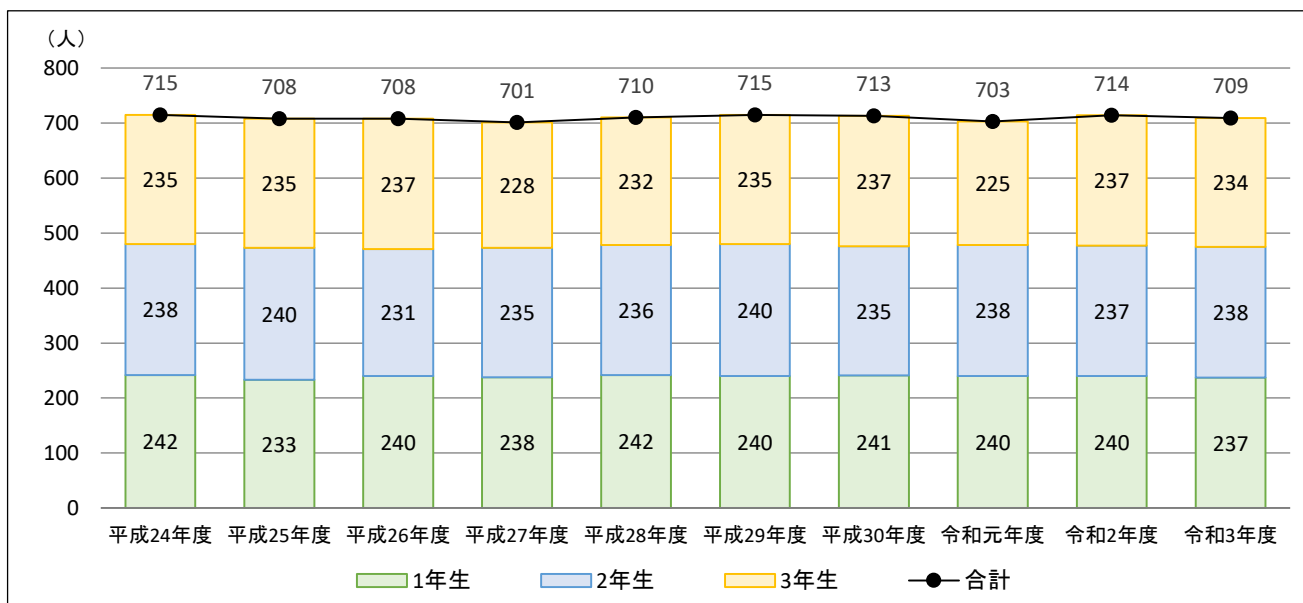
#### 【学年別生徒数】

単位：人

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1年生	242	233	240	238	242	240	241	240	240	237
2年生	238	240	231	235	236	240	235	238	237	238
3年生	235	235	237	228	232	235	237	225	237	234

資料：学校基本調査結果報告書(各年5月1日現在)

#### 【学年別生徒数】



資料：学校基本調査結果報告書(各年5月1日現在)

## (2)生涯学習

### ①青少年の健全育成

青少年育成に家庭、地域社会、学校、行政が相互に協力し合い、青少年の健全育成に取り組める体制づくりを目指し、青少年育成つくばみらい市民会議及び青少年相談員連絡協議会が中心となり事業を実施しています。また、県及び土浦地区連絡協議会の青少年育成研修会等に参加し、各地区の事業活動の情報交換を行い、相互に連携を強め、より充実した育成事業を行っています。

#### 【主な団体】(令和3年度)

関係団体名	構成人数	備考	活動状況
青少年育成つくばみらい市民会議	賛同する個人、市内の各種団体および機関	4回／年	本部による青少年の健全育成活動
青少年育成つくばみらい市民会議各支部会	9支部による組織	数回／年	各支部による青少年の健全育成活動
土浦地区青少年育成市民会議連絡会	5市による組織	1回／年	青少年の健全育成活動に関する研修会及び意見・情報交換会
つくばみらい市青少年相談員連絡協議会	17名	10回／年	青色防犯パトロール
第6ブロック青少年相談員連絡協議会	9市町村による組織	2回／年	青少年の非行・被害防止に関する青少年相談員の資質向上を図る研修会等

資料:生涯学習課

#### 【主な取り組み】(令和3年度)

主な取り組み	取り組み内容
青色防犯パトロール活動	夏休み期間(夜間巡回)や下校時間帯に防犯パトロールを実施した。
薬物乱用防止啓発活動	7月～8月、市内の学校や児童クラブ等の公共施設において啓発品の配布、教育委員会庁舎前でのぼり旗の提出を実施予定であったが、令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。
ふれあい交流事業	市内の小学生5・6年生を対象に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止となった。
大人が変われば、子どもも変わる運動	つくばみらい市PTA連絡協議会と共催で、青少年関係者、PTA関係者を対象に、11月教育講演会を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、動画配信で実施した。
演劇鑑賞会	道徳教育の一環として、親子が感動を共有し、心かよわせる場となることを目的に、演劇鑑賞会「ミュージカル オズの魔法使い」を2月に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、動画配信で実施した。

資料:生涯学習課

## ②家庭教育学級事業

家庭教育学級の状況は、市立幼稚園年中児及び小中学校1年生の保護者を対象に開設されており、各年約1,000人が参加しています。平成25年までは、伊奈公民館及び谷和原公民館で実施されていましたが、平成27年からは各学校でも実施しています。主な取組として、各学級での開級式や学級活動、事業説明会、合同学習会、家庭教育学級会議、合同閉級式があります。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっていましたが、令和3年度から再開しています。

### 【家庭教育学級の状況】

年度	実施回数	参加のべ人数	実施場所
平成24年度	17	975	伊奈公民館、谷和原公民館
平成25年度	17	982	伊奈公民館、谷和原公民館
平成26年度	18	1,012	伊奈公民館、谷和原公民館
平成27年度	18	988	各学校、公民館
平成28年度	18	1,029	各学校、公民館
平成29年度	18	1,047	各学校、公民館
平成30年度	19	1,095	各学校、公民館
令和元年度	19	1,178	各学校、公民館
令和2年度	中止	中止	中止
令和3年度	17	1,127	各学校、公民館

資料：生涯学習課

### ③公民館・コミュニティセンター・図書館の状況

#### ③-1公民館

学習活動の拠点として、各地域に5箇所(分館3箇所を含む)設置され、文化活動を展開しています。

サークル団体数については、伊奈公民館は概ね減少傾向となっています。谷和原公民館は70団体前後で増減していましたが、令和3年度には46団体に減少しています。

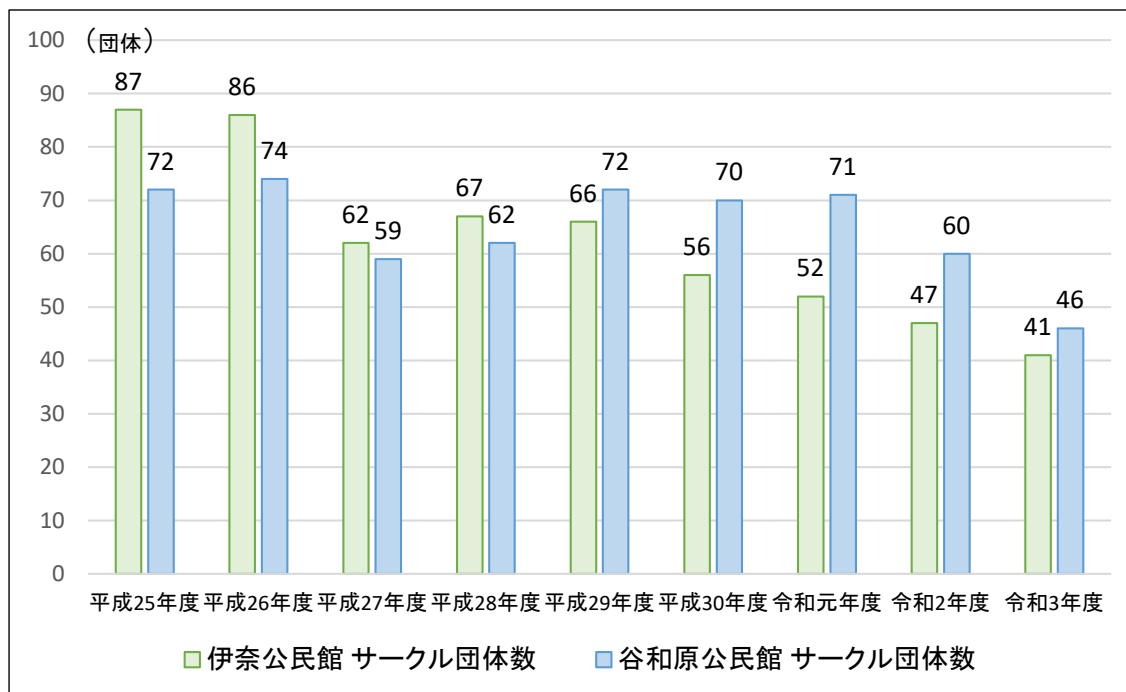
講座(定期講座、1日講座)の講座数を見ると、平成25年度以降、定期講座では横ばいが、一日講座では平成27年に減少していましたが平成元年度まで増加が続ききました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座数を減らすなどの対策を行ったため、講座参加者数も減少しています。令和3年度は以前の講座数に戻っていますが、講座参加者数はコロナ禍以前の半数程度となっています。

#### 【施設の状況】(令和3年度)

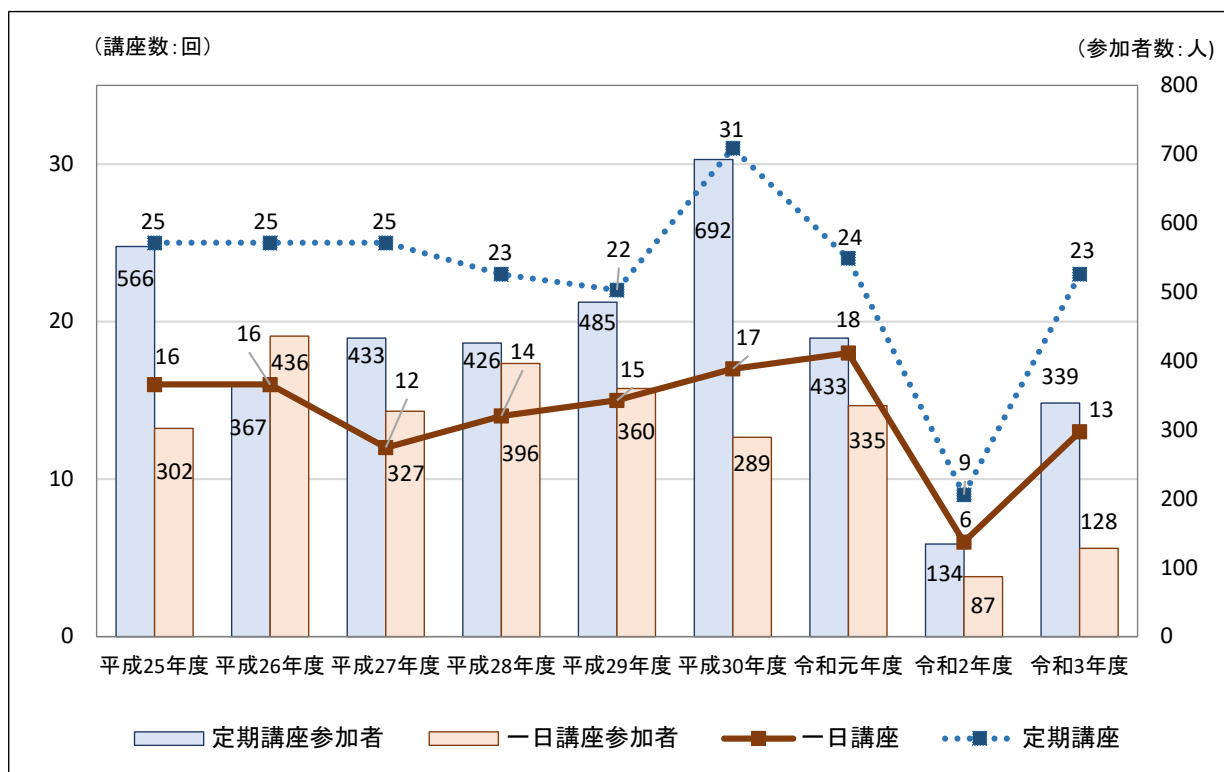
施設名	施設内容
伊奈公民館	大ホール、小会議室、会議室1・2、和室(1F・2F)、調理室
谷和原公民館	大会議室、小会議室、和室(1・2)、調理実習室、研修室、陶芸舎
谷和原公民館 (谷原分館)	会議室、小会議室
谷和原公民館 (十和分館)	会議室、会議室(和室)
谷和原公民館 (福岡分館)	会議室、会議室(和室)、調理室

#### 【サークル団体数の推移】



資料:伊奈公民館・谷和原公民館

### 【講座数と参加者数の推移】



資料:伊奈公民館・谷和原公民館

### 【主な定期講座】(令和3年度)

施設名	定期講座
伊奈公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマのある暮らし</li> <li>・健康ヨガ</li> <li>・ベーグル教室</li> <li>・ワールドキャラバン</li> <li>・体幹トレーニング</li> <li>・家庭で本格日本料理</li> </ul>
谷和原公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ太り解消エクササイズ</li> <li>・はじめてのそば打ち教室</li> <li>・仏像彫刻を楽しもう</li> <li>・はじめての太極拳</li> <li>・国産大豆と地元米で無添加みそづくり</li> <li>・大人のピアノ教室</li> </ul>

資料:伊奈公民館・谷和原公民館



### ③-2コミュニティセンター

コミュニティセンターは、市内に4箇所あり、平成26年11月に開館した「みらい平コミュニティセンター」には、これまでなかった音楽スタジオが設置されています。

各施設の利用状況を見ると、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年の4月と5月は閉館しており、令和2年度の開館日数が230日でしたが、令和3年度は各コミュニティセンターによって多少の違いはありますが、開館日数は264日から278日となっています。

各コミュニティセンターで比較的利用率が高いのが多目的室で、板橋コミュニティセンターでは86%を超える利用率となっています。そのほかのコミュニティセンターでも約70%から75%となっています。そのほか、谷井田コミュニティセンターでは研修室の利用率が約82%、板橋コミュニティセンターも研修室の利用率が約74%と高い割合を示しています。

和室は谷井田コミュニティセンターと小絹コミュニティセンターで約60%の利用があり、ほかのコミュニティセンターよりも高くなっています。

#### 【施設の内容】

施設名	施設内容
谷井田コミュニティセンター	多目的室、研修室、調理室、和室(1)、和室(2)、和室(3)
小絹コミュニティセンター	多目的室、会議室、和室(1)、和室(2)
板橋コミュニティセンター	多目的室、研修室(1)、研修室(2)、調理実習室、和室(1)、和室(2)
みらい平コミュニティセンター	多目的室、会議研修室(1)、会議研修室(2)、会議研修室(3)、調理室、音楽スタジオ、和室(1)、和室(2)、相談室

資料：生涯学習課

#### 【各コミュニティセンターの利用状況(令和3年度)】

##### 谷井田コミュニティセンター

開館日数：274日

室名	年間利用数			年間利用率	一回あたりの 利用人数	利用日数あたりの 利用団体数
	回数	人数	日数			
多目的室	325	5,526	205	74.8%	17.0	1.6
研修室	358	3,064	225	82.1%	8.6	1.6
調理室	29	405	28	10.2%	14.0	1.0
和室(1)	167	1,013	130	47.4%	6.1	1.3
和室(2)	172	2,003	157	57.3%	11.6	1.1
和室(3)	182	1,998	162	59.1%	11.0	1.1

##### 小絹コミュニティセンター

開館日数：264日

室名	年間利用数			年間利用率	一回あたりの 利用人数	利用日数あたりの 利用団体数
	回数	人数	日数			
多目的室	293	6,112	190	72.0%	20.9	1.5
会議室	261	2,364	160	60.6%	9.1	1.6
和室(1)	134	1,278	115	43.6%	9.5	1.2
和室(2)	190	1,566	164	62.1%	8.2	1.2

## 板橋コミュニティセンター

開館日数:274日

室名	年間利用数			年間利用率	一回あたりの 利用人数	利用日数あたりの 利用団体数
	回数	人数	日数			
多目的室	369	7,058	236	86.1%	19.1	1.6
研修室(1)	313	2,894	203	74.1%	9.9	1.5
研修室(2)	220	2,174	173	63.1%	10.2	1.3
調理実習室	12	357	12	4.4%	42.0	1.0
和室(1)	85	1,190	123	44.9%	8.7	0.7
和室(2)	74	1,132	116	42.3%	8.8	0.6

## みらい平コミュニティセンター

開館日数:278日

室名	年間利用数			年間利用率	一回あたりの 利用人数	利用日数あたりの 利用団体数
	回数	人数	日数			
多目的室	407	2,593	193	69.4%	6.4	2.1
会議研修室(1)	247	653	165	59.4%	2.6	1.5
会議研修室(2)	216	689	64	23.0%	3.2	3.4
会議研修室(3)	68	778	61	21.9%	11.4	1.1
調理室	17	250	5	1.8%	14.7	3.4
音楽スタジオ	68	278	52	18.7%	4.1	1.3
和室(1)	85	449	64	23.0%	5.3	1.3
和室(2)	106	190	78	28.1%	1.8	1.4
相談室	33	456	33	11.9%	13.8	1.0

※各施設の年間利用率は各施設の開館日に対する割合を示す。

資料:生涯学習課(管理日誌 令和3年度)

### ③-3図書館

図書館は、図書館本館及び図書館小絹分館、図書館みらい平分館の3箇所があります。

令和3年度の図書館の蔵書数は約21万冊、年間貸出冊数は約27万冊、利用者数は約7.3万人となっています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、開館に制限があったことから利用者数と貸出冊数が大きく減少しましたが、令和3年度には新型コロナウイルス感染症拡大前と同じ水準まで回復しています。

また、図書館行事については、おはなし会や図書館まつりを実施しており、令和3年度の行事の開催数は38回、約1,400人が参加しています。

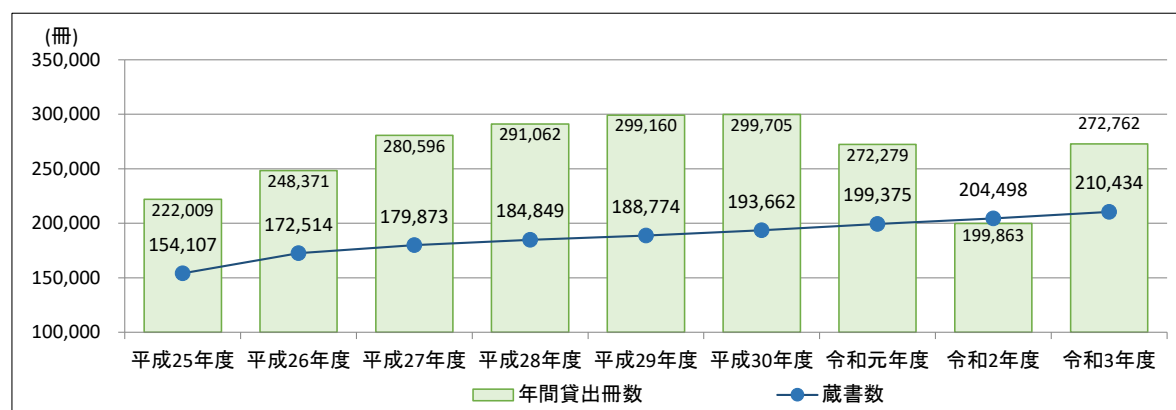
令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、行事のほとんどが開催中止となりましたが、令和3年度から徐々に再開しています。

#### 【施設の状況(令和3年度)】

	開館時間	利用者数※(人)	蔵書数(冊)	年間貸出冊数(冊)
つくばみらい市立図書館本館	火曜～日曜 9時～19時	42,451	156,867	149,128
つくばみらい市立図書館小絹分館	火曜～日曜 9時～19時	6,008	25,582	21,439
つくばみらい市立図書館みらい平分館	火曜～日曜 9時～19時	24,801	27,985	102,195

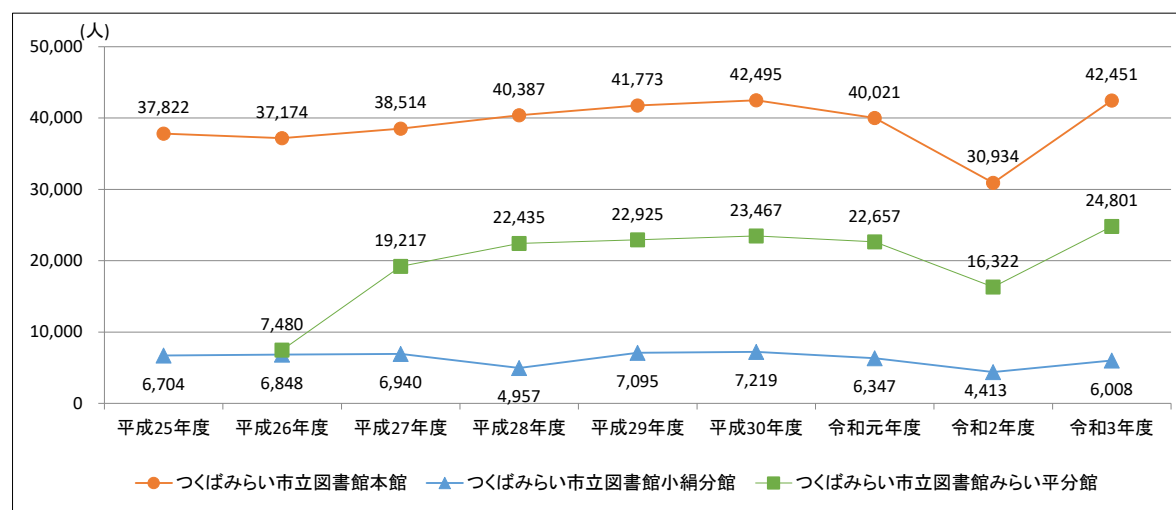
※利用者数とは来館者の中で貸出手続きを行った人数のこと  
資料:図書館

#### 【蔵書・年間貸出冊数の推移】



資料:図書館

#### 【年間利用者数※の推移】



※利用者数とは来館者の中で貸出手続きを行った人数のこと  
資料:図書館

【行事の開催数と参加者数の推移】

行事名	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	開催 (回/年)	述べ参加者 (人)	開催 (回/年)	述べ参加者 (人)	開催 (回/年)	述べ参加者 (人)	開催 (回/年)	述べ参加者 (人)
中学生職場体験※	8	16	8	21	2	4		
市内の小学校・幼稚園・保育園の図書館見学	11	400	9	381	2	28	5	244
夏休み映画会※	3	85	3	45			1	5
文学散歩	1	30	1	28			1	19
おはなし会※(合計)	58	1,264	49	804			19	73
夏休み本を読んでポイントカード	1	1,144	1	1,240				
伊奈特別支援学校の実習生の受入※	1	3						
伊奈高校インターンシップ※	3	7	6	18			2	6
ブックスタート事業	12	480	11	373		199		173
図書館まつり(合計)	1	1,095	1	1,002			1	920
図書貸し出し	1	415	1	383			1	449
読書感想画展示	1	232	1	208			1	265
除籍本の配布	1	287	1	262			1	166
ブックコート体験	2	35	2	15			2	5
わらべうたで遊ぼう	1	19	1	9			1	5
科学あそび	1	29	1	28			2	19
講演会	1	34	2	79				
虹の会のおはなし会	1	24						
ホットケーキのお話会	1	13						
朗読の会みらい塾・朗読の発表	1	7	1	18				
映画会							1	9
おはなし会							1	2

※日数を回数と読み替えている

令和2年度～3年度のブックスタート事業は新型コロナウイルス感染症拡大により絵本等の配付のみ実施

図書館まつり以下の事業は、図書館まつりに実施した行事

資料：図書館利用統計

#### ④スポーツ・レクリエーション活動

主なスポーツ行事・事業として、毎年7つの行事を行っていましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべて中止となりました。

令和3年度は3つの行事を再開していますが、「みらいマラソン」はスマートフォンを使ったオンライン参加によるランニング、ウォーキングイベントとして開催されました。

社会体育施設の設置状況については、「総合運動公園」や「城山運動公園」をはじめ、5つの施設があります。

令和3年度の利用人員で見ると、総合運動公園の体育館や多目的広場、テニスコート、桜公園テニスコートの利用が比較的多くなっています。

スポーツクラブみらい教室運営状況を見ると、令和3年10月現在では9教室が開催されています。

#### 【体育関係審議会】

関係団体名	構成人数	活動状況
スポーツ推進審議会	6	スポーツ推進に関する調査審議

資料：生涯学習課スポーツ推進室  
つくばみらい市スポーツ推進審議会委員名簿より

#### 【主なスポーツ行事・事業】

行事名	開催月(回/年)	述べ参加者(人)
近隣中学校球技大会	5月(1/1)	217
レクリエーション大会	12月(1/1)	117
市民ウォークDAY	中止	-
スポーツフェスティバル	中止	-
ニュースポーツ大会	中止	-
出張相撲教室	廃止	-
みらいマラソン	2月20日～3月6日の 15日間	1,576

資料：生涯学習課スポーツ推進室  
令和3年度事業実績より

【社会体育施設の設置状況】

施設名	使用回数(回)	利用人員(人)
<b>①総合運動公園</b>		
体育館	1,434	18,125
武道場	110	672
卓球室	379	952
トレーニング室	839	992
野球場	158	3,969
テニスコート	1,343	9,290
ゲートボール場	0	0
多目的広場	439	15,137
青少年研修道場	468	5,876
<b>②城山運動公園</b>		
野球場	137	2,470
<b>③桜公園テニスコート</b>		
テニスコート	1,059	23,518
<b>④古川テニスコート</b>		
テニスコート	327	5,670
<b>⑤谷和原武道館</b>		
柔道場、剣道場	424	3,359

資料:生涯学習課スポーツ推進室  
令和3年度施設利用状況より

【スポーツクラブみらい教室運営状況】

	教室名	備考
1	けんこう吹き矢教室	
2	ウォーキング教室	みらいの森公園
3	ヨガ教室	
4	武術太極拳	
5	バドミントン教室	
6	卓球教室	
7	バレーボール教室	
8	スクエアステップ教室	
9	ボクシング教室	
10	バスケットボール教室	
11	走り方教室	休止中

資料:スポーツクラブみらいHPより(令和5年1月現在)

## ⑤文化施設

文化施設として、間宮林蔵記念館、結城三百石記念館の2館があります。文化財については、国指定の重要文化財(彫刻)「木造不動明王及二童子立像」、重要無形民俗文化財「鋼火」の2件のほか、県指定8件・市指定9件があります。

### <間宮林蔵記念館>

この地に生まれ育った探検家「間宮林蔵」を紹介するために顕彰事業の一つとして建設しました。全国各地から収集した資料のほか、現子孫宅に伝わる遺品、林蔵にまつわる史跡などをテーマごとに展示しています。



間宮林蔵生家

### <結城三百石記念館>

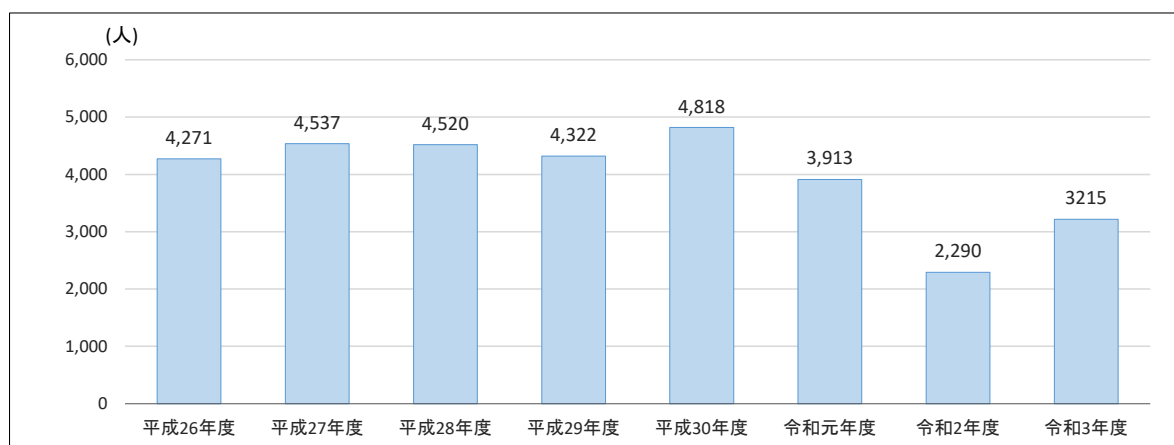
本市で「結城三百石」と称され地方開発の中心的役割を担った結城家の屋敷を保存活用し、市民利用施設として広く公開しています。敷地内では、四季折々の草花、野鳥、虫たちを見ることができ、館内には、当時の生活具をもとの場所にそのまま展示してあります。

また、史料収蔵庫に江戸時代初期からの文書類を5,000点以上保管しており、その一部を展示公開しています。



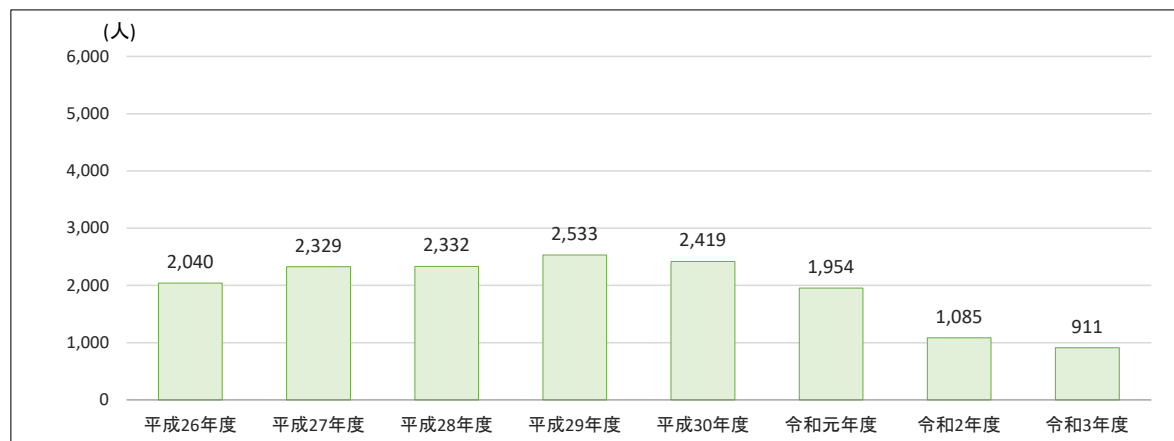
結城三百石記念館

### 【間宮林蔵記念館来館者数の推移】



資料:生涯学習課 月間集計表

### 【結城三百石記念館来館者数の推移】



資料:生涯学習課 月間集計表

【指定文化財一覧】

指定区分	種別	名称	指定年月日	所在地	管理者	
国指定	彫刻	木造不動明王及二童子立像	大正 4年 8月10日	板橋	不動院	
	無形民俗	網火	小張松下流	昭和51年 5月 4日	小張	小張松下流網火保存会
		高岡流	昭和51年 5月 4日	高岡	高岡流網火更進団	
県指定	史跡	間宮林蔵の生家	昭和30年11月25日	上平柳	つくばみらい市	
	史跡	間宮林蔵の墓	昭和30年11月25日	上平柳	間宮正孝	
	建造物	不動院三重塔	昭和35年12月21日	板橋	不動院	
	無形民俗	西丸山祈禱ばやし	昭和38年 8月23日	西丸山	西丸山祈禱囃子保存会	
	彫刻	木造阿弥陀如来立像	昭和40年 2月24日	小張	善空寺	
	建造物	不動院本堂	昭和40年 2月24日	板橋	不動院	
	建造物	不動院楼門	昭和49年11月25日	板橋	不動院	
	彫刻	木造阿弥陀如来及脇侍像	平成12年11月27日	福岡台入会地	大楽寺	
市指定	歴史資料	間宮林蔵関係資料	平成 4年 3月 3日	上平柳	間宮正孝	
	彫刻	木造薬師如来坐像	平成 7年 6月 1日	福岡台入会地	大楽寺	
	彫刻	木造千手千眼観自在菩薩立像、 附胎内仏十一面観音像	平成12年 3月31日	東栗山	千手院	
	彫刻	木造阿弥陀如来立像	平成12年 3月31日	豊体	浄円寺	
	彫刻	木造十一面観音立像	平成13年 3月27日	福岡台入会地	大楽寺	
	史跡	鉄火塚(附鉄火棒)	平成13年 3月27日	宮戸	つくばみらい市	
	考古資料	山水双鳥鏡	平成20年12月 1日	加藤	つくばみらい市	
	彫刻	銅造不動明王立像	平成20年12月 1日	足高	足高地区	
	彫刻	仁王尊像 阿形 吽形	平成25年1月22日	板橋	不動院	

資料:生涯学習課



網火(高岡流)



網火(小張松下流)



不動院楼門



## ⑥文化事業・生涯学習事業

文化事業について見ると、令和3年度の文化祭が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっています。文化施設の利用者数・来場者数は令和3年度に回復傾向になっていますが、文化協会加入団体数は減少傾向にあります。

生涯学習事業については、令和3年度は4つの事業を行っています。

放課後子ども総合プラン事業では、放課後児童クラブに約830人が登録しています。令和2年度に中止していた放課後子ども教室も令和3年度に再開しています。

### 【文化事業】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
文化祭参加者数(人)	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	—
文化施設利用者・来場者(人)	6,852	6,855	7,237	5,867	3,375	4,126
文化協会加入団体(団体)	53	52	49	44	39	36

資料:生涯学習課

### 【生涯学習事業】

行事名	開催(回/年)	述べ参加者(人)
わくわくチャレンジ講座	17	335
親子対象講座	15	218
成人者対象講座	2	8
人権講演会事業	1	1,128

資料:生涯学習課

### 【放課後子ども総合プラン事業】

行事名	実施日	登録者数(人)
放課後児童クラブ	月曜日～土曜日	829
放課後子ども教室	週1回	187

資料:生涯学習課

【生涯学習施設位置図】



### 3 アンケート調査結果の概要

#### (1)アンケート調査概要

##### ①調査対象

学校教育	
市立小・中学生の保護者対象	
小学2年生、4年生、6年生児童と中学1年生、3年生の生徒の保護者	2,547票
生涯学習	
①市内在住の18歳以上(無作為抽出)	1,000票
②市内在住の18歳以上(Web公開)	不特定

##### ②調査方法

学校教育
各学校を通じて調査票を配布 回収は以下のどちらかを選択 ・調査票で回答し学校へ提出 ・QRコードからWEBサイトで回答
生涯学習
①郵送配布 無作為抽出した1,000名には郵送で配布 回収は以下のどちらかを選択 ・調査票を郵送で返信 ・QRコードからWEBサイトで回答
②WEB公開 新型コロナワクチン接種会場にポスターを掲示しアンケート回答を呼びかけ 市ホームページ及びSNS上でアンケート回答を呼びかけ 回収はすべてWEBサイトで回答

##### ③調査期間

学校教育	
市立小中学生の保護者	令和3年9月13日(月)～令和3年9月26日(日)
生涯学習	
①市内在住の18歳以上(無作為抽出)	令和3年9月1日(水)～令和3年9月19日(日)
②市内在住の18歳以上(Web公開)	令和3年9月21日(火)～令和3年10月3日(日)

#### ④回収結果

対象者	配布数(票)	方法	回収数(票)	回収数計(票)	回収率
学校教育					
小中学生の保護者	2,547	調査票	871	1,861	73.1%
		WEB	990		
生涯学習					
市民(無作為抽出)	1,000	調査票	183	274	27.4%
		WEB	91		
市民(不特定)	—	WEB	52	52	—

#### (2)アンケート調査結果概要

##### ①学校教育 アンケート調査項目

問番号	調査項目
問1	お住まいの地区
問2	学年
問3	家庭で学校の宿題や予習・復習・学校以外の学習をやっているか
問4	ご家庭でお子さまは自分専用のスマートフォンやタブレットなどを持っているか
問5	(限定)お子さまがスマートフォン・携帯電話を利用することについて
問6	(限定)お子さまのタブレット端末の利用方法
問7	ご家庭でのお子さまのしつけ・教育について、特に重要だと思うもの
問8	お子さまの教育についての悩み
問9	教育について不安を感じた時に誰に相談するか
問10	お子さまは、学校の授業についていくことができているか
問11	学校教育において、身につける力・育てる心として重要だと思うもの(トップ3)
問12	学校の教育で力を入れる必要があると思うもの
問13	小学校卒業までに身につけさせたい英語力
問14	タブレット端末の今後の授業での活用について
問15	学校教育全体の満足度・重要度
問16	学校の安全な教育環境づくりで、特に力を入れてほしいもの
問17	児童生徒が安心して学校で過ごせる環境づくりで、特に力を入れてほしいもの
問18	お住まいの地域では、家庭・地域と学校の連携・協力体制が整っているか
問19	家庭・地域・学校が連携し協力していくのに必要なもの
問20	お子さまは小学校入学前、どこに通っていたか
問21	小学校入学前にお子さまが身につけていてよかったこと
問22	小学校入学時に不安を感じたこと
問23-1	コロナ禍において、お子さまの生活や学習、遊びは変わったか
問23-2	(限定)どのように変わったか

## ②学校教育 アンケート調査結果の概要

### 【お子さまのご家庭での生活や教育について】 問3～問9

- ・「学校の宿題」を「いつもやっている」小学生は8割を超えているが、中学生では7割弱と下がっている。一方、「授業の予習・復習」については、小学生では「ほとんどやっていない」が4割弱となっているが、中学生では「いつもやっている」、「時々やっている」を合わせると5割を超えている。「自主的な学校以外の学習」では、小中学生共に「時々やっている」が4割弱となっている。
- ・「スマートフォン・携帯電話」を「持っている」小学生は2割強であるのに対し、中学生では約8割となっている。
- ・「スマートフォン・携帯電話」を「利用することについて」は「家族・友達と連絡を取るには必要」が全体で7割をこえている。「外出時の防犯対策のために必要」では小学生が約6割であるが中学生では4割に満たない。「ネットトラブルに巻き込まれないか不安」では中学生では約2割であるが小学生では1割にも満たない。
- ・「ご家庭でのお子さまのしつけ・教育について、特に重要だと思うもの」では「マナーや社会のルールを身につける」が全体で約7割で小中学生でも差はないが、小学生では、「悪いことはきちんと叱り納得させる」が約4割、「子どもと一緒に遊んだり、体験したりする機会をつくる」が約3割であるのに対し、中学生では「マナーや社会のルールを身につける」が約7割、「子どもと話す時間を大切にする」が約5割、「子どもの将来や進路について話をする」が約2割と全体より高くなっている。
- ・「お子さまの教育についてどのような悩みがあるか」では特に中学生で「学校の成績」や「進学・進路」がそれぞれ5割を超えており、小学生のそれぞれ約3割と約2割より大きく増えている。

### 【つくばみらい市の学校教育全体について】 問10～問14

- ・「学校の授業についていくことができているか」については、小学生では理解しているが約9割であるが、中学生では8割弱となっており、学年が上がるにつれて、授業の理解に個人差が出てくるのがわかる。
- ・「学校教育において、身につける力・育てる心として重要だと思うもの」では「コミュニケーション能力」が全体の2割である。中学生では「社会で自立するための基礎的な力」や「社会的な常識やマナー」は全体より高くなっている。割合的には少ないが「将来の進路について考える力」は小学生の約倍となっており、小中学生での違いがみられる。
- ・「学校の教育で力を入れる必要があると思うもの」では小学生でみると、「いじめ問題などの相談体制の整備」、「習熟度別指導」、「道徳教育・人権教育の充実」が3割強とほぼ同じ割合であるが、中学生では「習熟度別指導」が約4割、次いで「補習等の学習支援」、「教科での少人数指導」が3割5分と多くなり学力重視の割合が高くなっている。
- ・「小学校卒業までに身につけさせたい英語力について」は小学生では「単語や定型句を並べてコミュニケーションがとれる」が中学生より5ポイント高いのに対して、中学生では「初歩的な単語やフレーズを覚えて言うことができる」が小学生より8ポイントも高く、中学生の保護者の方がより基礎的な学力を身につけさせるべきと考えているようである。
- ・「タブレット端末の今後の授業での活用について」は「児童生徒の情報活用能力を向上させるためには、授業では積極的に活用してほしい」が6割強、「インターネット環境、ICTなどの使用ルール、道徳等の情報モラル教育をしっかりとしてほしい」が7割弱であり、積極的な活用と同時に、使う上でのルールやモラルについても教育も望まれている。

【つくばみらい市の学校教育に関する施策・事業について】 問 15

- ・ポイント換算による満足度ランキングで高かったのは、「緊急時の保護者との連絡体制」「学校給食・食育」であるが、小中学生で差が大きかったものは、「学校施設・設備の充実」(小学生0.39、中学生0.02)、「基礎的な学力を確実に身につける学習」(小学生0.39、中学生0.18)である。満足度が低いものでは「国際化に対応した教育」「キャリア教育・職業体験」であるが、これはコロナ禍で授業等で実施できなかった影響も考えられる。
- ・ポイント換算による重要度ランキングで見ると「基礎的な学力を確実に身につける学習」が最も高い。小中学生で差が大きかったものは、「部活動・クラブ活動」(小学生0.73、中学生0.98)、「体験活動(自然体験、社会奉仕、など)」(小学生1.16、中学生0.92)となっている。
- ・満足度と重要度でCS分析を行うと、最優先改善項目(満足度が低く・重要度が高い、今後優先的に取り組むことが求められる)は、「体験活動(自然体験、社会奉仕、など)」と「児童・生徒の体力の向上・健康増進」となっている。

【学校の安全な教育環境について】 問 16・問 17

- ・「学校の安全な教育環境づくりで、特に力を入れてほしいもの」で最も多かったものは、「登下校時の見守り等の防犯体制」で、特に小学生では3割弱となっているが、中学生では2割弱と1割以上減っている。
- ・「児童生徒が安心して学校で過ごせる環境づくりで、特に力を入れてほしいもの」は「校内の指導体制の充実」で最も多い。特に中学生が小学生より約3ポイントほど多い。

【地域とのかかわりについて】 問 18・問 19

- ・「お住まいの地域で家庭・地域と学校の連携・協力体制が整っているか」では「整っている」が約4割であるが、「わからない」とする回答も約3割ある。
- ・「家庭・地域・学校が連携し協力していくのに必要なもの」では「学校を拠点としたコミュニティ活動」「学校の登下校時間に、地域で子どもの安全を見守る」がそれぞれ3割強となっている。

【お子さまが小学校入学前の頃のことについて】 問 20～問 22

- ・小学校入学前は「幼稚園」が約5割、次いで「保育園」が約3割、「認定こども園」が2割弱となっている。
- ・「小学校入学時に不安を感じたこと」は「新しい環境になじめるか」が約6割、「友達ができるか」が約5割、「勉強についていけるか」が約4割となっている。

【新型コロナウイルス感染症拡大による影響等について】 問 23

- ・「コロナ禍において、お子さまの生活や学習、遊びは変わったか」については、「変わった」が9割を占めている。
- ・どのように変わったかは「外出する機会が大きく減った(買物・外食・旅行など)」が約9割であるが、中学生では「スポーツ少年団や部活動など運動する機会が減った」が6割であり、小学生の3割強より倍近く多くなっている。

### ③生涯学習 アンケート調査項目

問番号	調査項目
問1	お住まいの地区
問2	職業
問3	性別
問4	年齢
問5-1	ご自身が活動したことがある分野、活動してみたい分野
問5-2	(限定)ご自身が活動したことが無い理由
問6	学んだ知識や技能をどのようなことに役立てているか、または役立てたいと思うか
問7	生涯学習をしやすい時間帯(曜日と時間帯)
問8	生涯学習情報の入手先
問9	生涯学習各項目の満足度と重要度
問10	社会教育施設の利用頻度
問11	社会教育施設の利用目的
問12	社会教育施設利用に望むもの
問13	文化施設・文化財の認知度
問14-1	新型コロナウイルス感染症の拡大前後での、学習等に対する意欲について
問14-2	(限定)学習意欲が強くなった内容
問14-3	(限定)学習意欲が弱くなった内容
問15-1	インターネットを活用したオンライン学習への意欲
問15-2	(限定)インターネットを活用したオンライン学習をしたい理由
問15-3	(限定)インターネットを活用したオンライン学習をしたいができない理由
問15-4	(限定)インターネットを活用したオンライン学習をしたくない理由
問16	スポーツをする頻度
問17	(限定)しているスポーツとしてみたいスポーツ
問18	(限定)スポーツをしていない理由
問19	スポーツ施設の利用状況
問20	スポーツ施設に望むこと

### ④生涯学習 アンケート調査結果の概要

#### 【地域や家庭で行う生涯学習活動について】 問5～問8

- ・活動したことがある生涯学習の分野は、「文化・芸術活動の分野」が3割5分と最も高い。次いで「スポーツに関する分野」が3割弱となっている。「特になし」も2割強の回答がある。
- ・してみたい分野は「日常生活・家庭生活に役立つ分野」が約3割5分と最も多くなっている。
- ・活動したことがない理由は、「忙しい・時間がない」が5割弱、「きっかけがつかめない」が4割となっている。
- ・学んだ知識や技能を役立てるのは「自分や家族の教養・生活の向上」が6割5分、「仕事や就職のための技術向上」が4割強となっている。
- ・生涯学習をしやすい時間帯は、平日で「午前」「夜間」「時間がとれない」が各2割5分程で同じであるが、土曜日では「午後」3割5分、「午前」3割強、「夜間」2割強となり、日曜日でも「午前」3割6分、「午後」3割4分とな

っている。土日の「時間がとれない」は2割弱で平日より減っている。

- ・生涯学習情報の入手先は「県や市の広報誌」が6割である。自由回答では生涯学習講座の内容を詳しく知りたいという意見もみられ、細かな情報発信も求められている。

#### 【つくばみらい市の生涯学習について】 問9

- ・ポイント換算による満足度ランキングで高かったのは、「コミュニティセンターの利用時間」(0.20)、「コミュニティセンターの施設・設備の充実」(0.17)、「公民館の利用時間」(0.14)である。満足度が低いものでは「指導者や芸術家・文化人の招致」(-0.30)、「体育施設・グラウンドなど施設の充実」(-0.23)、「講師、指導者などの人材情報」(-0.23)となっている。
- ・満足度がプラスとなったものは18項目中4項目にとどまっており、「図書館事業(講演会・読み聞かせなど)」以下残りの14項目はマイナスポイントとなり、生涯学習事業全体的に評価が低い結果となった。
- ・満足度と重要度でCS分析を行うと、最優先改善項目(満足度が低く・重要度が高い、今後優先的に取り組むことが求められる)は、「図書館の蔵書や視聴覚資料の充実」、「体育施設・グラウンドなど施設の充実」、「スポーツ・レクリエーション活動の支援」、「公民館などでの講座や教室の内容」が含まれている。谷和原地区ではさらに「文化財の保護・保全や郷土芸能伝統文化の伝承」も含まれている。
- ・自由回答でも「講座や教室の内容」についての意見も多く、時間帯を増やしたり、参加しやすさなどの要望もみられる。

#### 【つくばみらい市の社会教育施設の利用について】 問 10～問 12

- ・社会教育施設の利用頻度については、「公民館」は8割弱が「ほとんど利用していない」と回答し、「コミュニティセンター」は5割強、「図書館」も4割強がほとんど利用していない。
- ・「コミュニティセンター」と「図書館」は「年に数回」の利用者が3割弱であるが、「公民館」は1割5分ほどとなっている。
- ・利用目的では「コミュニティセンター」と「公民館」は「趣味のグループやサークル活動」が多く、「図書館」は資料の貸し出しが多い。そのほかに「育児支援室」の利用も多く見られる。
- ・利用に関して望むことは「講座やイベントの充実」が各施設とも最も多くなっている。

#### 【文化施設・文化財について】 問 13

- ・「間宮林蔵記念館」は認知度が高く、3割以上の方が、来館しているのに対し、「結城三百石記念館」は「見たこと・行ったことがある」「知っている」を合わせても5割に満たず、認知度が比較的低い。
- ・「木造不動明王及二童子立像」は約6割が「見たこと・行ったことがある」と回答している。民俗文化財の「綱火(小張松下流)」「綱火(高岡流)」ともに「見たことがある・行ったことがある」「知っている」を合わせると、7割を超えている。

#### 【新型コロナウイルス感染症拡大による生涯学習に対する意識の変化について】 問 14～問 15

- ・「新型コロナウイルス感染症の拡大前後での、学習等に対する意欲について」は、学習意欲が「強くなった」と「弱くなった」が約2割5分でほぼ同じとなっている。
- ・学習意欲が強くなった方は、「家にいる時間が増えたので、新しく何かを学びたい、挑戦したいと思うようになった」が約6割5分となっている。「インターネットを利用した情報収集や様々な手続きを行いたいと思うようになった」が4割強となっている。



- ・学習意欲が弱くなった方は、「人が集まって学ぶことに不安を感じるようになった」が約6割5分となっている。「外出して学習したいという気持ちがなくなった」が5割あり、人に会うことを避ける意向がうかがえる。
- ・インターネットを活用したオンライン学習をしたい理由では、「自宅で学習ができる」が約8割、「いつでも自分の好きな時間に学習ができる」が8割弱となっている。
- ・オンライン学習ができない理由としては、「費用がかかる・高い」が約4割、「パソコンやスマートフォン等の機器は持っているが、使い方がわからない」が3割強となっている。
- ・オンライン学習をしたくない理由としては、「必要性を感じない」が最も多く、4割を超えている。次いで、「コミュニケーションがとりにくい」「インターネット上のトラブルが不安」の割合が高くなっている。

#### 【生涯スポーツ活動について】 問 16～問 20

- ・スポーツをする頻度は、「ほとんどしない」が半数近くの5割弱。「週に1～2回」が2割弱、「ほとんど毎日」は約1割となっている。
- ・しているスポーツは「ウォーキング・散歩」が5割弱となっている。その他のスポーツも多岐にわたっているが、多くても1割台となっている。
- ・今後やってみたいスポーツは「ヨガ」「釣り・キャンプ」「サイクリング」が比較的多くなっているが、そのほかでも多岐にわたっており、回答が分散している。
- ・スポーツをしていない理由は、「忙しい・時間がない」が最も多く、4割を超えている。
- ・スポーツ施設の利用状況では「総合運動公園内施設」が4割弱、「常総運動公園」「絹の台桜公園、きらくやまふれあいの丘」がそれぞれ3割強となっている。
- ・スポーツ施設に対する要望は、「施設や設備の充実(プール、テニスコート、ナイター設備など)」が5割、「スポーツ教室やイベントの充実(健康体操やフィットネス、子ども向けの教室など)」が4割弱となっている。施設設備の充実は自由意見でも多く、プールやジムなどの要望が多い。

## 4 団体ヒアリング実施の概要

### (1) オンラインによるヒアリング

#### ① 学校長グループ

ヒアリング項目			
つくばみらい市の学校教育の課題について 生活指導について 家庭教育について 地域との連携について つくばみらい市の教育において重点的に取り組むべきことについて			
日時	令和3年10月19日(火) 9:30~11:00	開催場所 (オンライン開催)	各学校
学校長 グループ A	①伊奈中学校 ②伊奈小学校 ③豊小学校 ④伊奈東小学校 ⑤陽光台小学校		
日時	令和3年10月21日(木) 9:30~11:00	開催場所 (オンライン開催)	各学校
学校長 グループ B	①小絹中学校 ②伊奈東中学校 ③谷原小学校 ④十和小学校 ⑤福岡小学校 ⑥小絹小学校 ⑦富士見ヶ丘小学校 ⑧小張小学校		

#### ② 教職員グループ

ヒアリング項目			
つくばみらい市の学校教育の課題について 生活指導について 生きる力を培う教育について 心と体の健康について つくばみらい市の教育において重点的に取り組むべきことについて			
日時	令和3年10月25日(月) 15:30~17:00	開催場所 (オンライン開催)	各学校
教職員 グループ C	養護教諭 ①伊奈東小学校 栄養教諭・管理栄養士 ②谷原小学校 ③学校給食センター 生徒指導教諭 ④谷原小学校 ⑤伊奈中学校 特別支援教育教諭 ⑥陽光台小学校 ⑦小絹小学校		

## (2)対面によるヒアリング

### ①社会教育関連グループ

ヒアリング項目			
つくばみらい市の生涯学習の課題・活動について 指導者の育成について 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について つくばみらい市の生涯学習において重点的に取り組むべきことについて			
日時	令和3年 11 月5日(金) 15:00~16:30	開催場所	伊奈庁舎2階会議室
社会教育関連 グループD	①文化協会 ②社会教育委員長 ③社会教育副委員長 ④図書館利用団体 ⑤伊奈公民館利用団体 ⑥谷和原公民館利用団体 ⑦コミュニティセンター利用団体 ⑧西丸山祈禱囃子保存会		

### ②スポーツ関連グループ

ヒアリング項目			
つくばみらい市の生涯学習の課題・活動について 利用している施設・活動場所について 指導者の育成について 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について つくばみらい市の生涯学習において重点的に取り組むべきことについて			
日時	令和3年 11 月5日(金) 13:30~15:00	開催場所	伊奈庁舎2階会議室
スポーツ関連 グループE	①スポーツ協会会長 ②③スポーツ協会副会長 ④スポーツ少年団本部長 ⑤⑥スポーツ少年団副本部長		

### ③青少年健全育成関連グループ

ヒアリング項目			
つくばみらい市で家庭・地域・学校が連携して子どもを育成することの課題について ご自身の所属する団体活動の状況、活動する上での課題について つくばみらい市で子どもの育成において重点的に取り組むべきことについて			
日時	令和3年 11 月5日(金) 10:00~11:30	開催場所	伊奈庁舎2階会議室
青少年健全育 成関連 グループF	①PTA連合会会長 ②③④PTA連合会副会長 ⑤子ども会会長 ⑥⑦子ども会副会長 ⑧青少年育成市民会議		

## 5 2027年度(R9年度)の「市民満足度の目標値」の設定について

各節に示した「市民満足度の目標値」は以下のようにして目標値を設定した。

計画当初のR3年度目標値と現況値(R3年度)を比較して、

- ①現況値(R3年度)が計画当初のR3年度目標値より高かった場合は、計画当初値(H27年度)との差分を現況値(R3年度)に加えた数値とする。
- ②現況値(R3年度)が計画当初のR3年度目標値より低かった場合は、0.5ポイントを計画当初のR3年度目標値に加えた数値とする。

さらに、「重点施策」、「市長マニフェスト」はそれぞれ+1.0ポイントを加える。

### 第1節 自分の可能性に挑戦する学力を育てる

つくばみらい市学校教育の満足度 (満足とやや満足の合計)	小学校 (%)				重点 施策	市長 マニフェスト
	計画当初値 (H27年度)	現況値 (R3年度)	計画当初の R3年度目標値	目標値 (R9年度)		
基礎的な学力を確実に身に付ける学習	30.7	37.9	34.7	45.1		
物事を順序立てて考える学習	19.1	25.7	21.6	32.3		
家庭学習への支援 (教育費の負担軽減、相談体制の充実など)	11.8	16.0	14.3	20.2		
キャリア教育・職業体験	11.1	10.9	13.6	14.1		
小中学校の連携・交流活動	11.9	12.8	15.9	17.4	+1.0	
コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業	17.7	32.3	21.7	48.9	+1.0	+1.0
国際化に対応した教育	10.7	13.1	13.2	15.7	+1.0	+1.0
教員の質の向上(考え方、学級運営など)	24.2	28.4	28.2	33.6		+1.0

つくばみらい市学校教育の満足度 (満足とやや満足の合計)	中学校 (%)				重点 施策	市長 マニフェスト
	計画当初値 (H27年度)	現況値 (R3年度)	計画当初の R3年度目標値	目標値 (R9年度)		
基礎的な学力を確実に身に付ける学習	15.8	23.9	19.8	32.0		
物事を順序立てて考える学習	12.9	19.7	15.4	26.5		
家庭学習への支援 (教育費の負担軽減、相談体制の充実など)	9.6	10.7	12.1	12.6		
キャリア教育・職業体験	21.8	12.1	24.3	24.8		
小中学校の連携・交流活動	18.3	13.7	22.3	23.8	+1.0	
コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業	13.8	27.6	17.8	43.4	+1.0	+1.0
国際化に対応した教育	6.5	9.1	9.0	13.7	+1.0	+1.0
教員の質の向上(考え方、学級運営など)	15.5	20.7	19.5	26.9		+1.0

## 第2節 たくましく生きる強い心と体を育てる

つくばみらい市学校教育の満足度 (満足とやや満足の合計)	小学校 (%)				重点 施策	市長 マニフェスト
	計画当初値 (H27年度)	現況値 (R3年度)	計画当初の R3年度目標値	目標値 (R9年度)		
いじめ・暴力行為等の問題への取組・未然防止	20.9	21.9	24.9	26.4	+1.0	
児童生徒が教育相談等を受けられることができる体制	19.7	24.3	22.2	29.9	+1.0	
豊かな心を育てる教育・道徳教育	26.6	29.9	30.6	31.1		
言葉を学び、生きる力を身に付ける読書活動	33.0	25.9	35.5	36.0		
体験活動（自然体験、社会奉仕など）	33.2	18.9	37.2	38.7	+1.0	
学校保健・思春期保健対策	9.2	12.9	11.7	16.6		
市伝統・文化や郷土に関する教育	18.0	16.2	22.0	23.5	+1.0	
児童生徒の体力向上・健康増進	23.3	18.5	25.8	26.3		
部活動・クラブ活動	14.6	11.6	17.1	17.6		
学校給食・食育	39.2	43.7	41.7	49.2	+1.0	

つくばみらい市学校教育の満足度 (満足とやや満足の合計)	中学校 (%)				重点 施策	市長 マニフェスト
	計画当初値 (H27年度)	現況値 (R3年度)	計画当初の R3年度目標値	目標値 (R9年度)		
いじめ・暴力行為等の問題への取組・未然防止	17.4	21.4	21.4	26.4	+1.0	
児童生徒が教育相談等を受けられることができる体制	20.0	20.9	22.5	24.0	+1.0	
豊かな心を育てる教育・道徳教育	16.0	24.4	20.0	32.8		
言葉を学び、生きる力を身に付ける読書活動	18.5	17.8	21.0	21.5		
体験活動（自然体験、社会奉仕など）	19.2	14.2	23.2	24.7	+1.0	
学校保健・思春期保健対策	10.2	12.5	12.7	13.2		
市伝統・文化や郷土に関する教育	10.2	14.1	14.2	15.7	+1.0	
児童生徒の体力向上・健康増進	20.6	16.5	23.1	23.6		
部活動・クラブ活動	31.5	24.1	34.0	34.5		
学校給食・食育	34.5	31.8	37.0	38.5	+1.0	

## 第3節 新しい時代の教育を支える環境を創る

つくばみらい市学校教育の満足度 (満足とやや満足の合計)	小学校				重点 施策	市長 マニフェスト
	計画当初値 (H27年度)	現況値 (R3年度)	計画当初の R3年度目標値	目標値 (R9年度)		
緊急時の保護者との連絡体制	44.7	41.6	45.2	45.7		
通学路の安全確保対策・交通安全教室	30.5	32.8	34.5	36.0	+1.0	
防災・防犯（避難・防災訓練など）	34.7	36.3	38.7	40.2	+1.0	
学校行事（運動会・文化祭など）	41.1	29.3	41.6	42.1		
学校施設・設備の充実	30.3	38.9	34.3	49.5	+1.0	+1.0
地域との交流や人材の有効活用	17.8	16.4	18.3	18.8		

つくばみらい市学校教育の満足度 (満足とやや満足の合計)	中学校				重点 施策	市長 マニフェスト
	計画当初値 (H27年度)	現況値 (R3年度)	計画当初の R3年度目標値	目標値 (R9年度)		
緊急時の保護者との連絡体制	28.1	34.1	28.6	40.1		
通学路の安全確保対策・交通安全教室	14.3	20.7	18.3	28.1	+1.0	
防災・防犯(避難・防災訓練など)	21.8	26.4	25.8	32.0	+1.0	
学校行事(運動会・文化祭など)	42.3	22.1	42.8	43.3		
学校施設・設備の充実	16.3	18.5	20.3	22.8	+1.0	+1.0
地域との交流や人材の有効活用	7.8	12.0	8.3	16.2		

#### 第4節 生涯を通じ、いきいきと活躍する学びを創る

つくばみらい市学校教育の満足度 (満足とやや満足の合計)	計画当初値 (H27年度)	現況値 (R3年度)	計画当初の R3年度目標値	目標値 (R9年度)	重点 施策	市長 マニフェスト
図書館事業(講演会・読み聞かせなど)	12.5	9.3	13.0	13.5		
図書館の蔵書や視聴覚資料の充実	15.4	18.2	15.9	21.0		
図書館の利用時間	15.9	19.8	17.9	24.7	+1.0	
コミュニティセンターの施設・設備の充実	24.4	29.3	26.9	35.2	+1.0	
コミュニティセンターの利用時間	17.3	23.1	19.3	29.9	+1.0	
文化財の保護・保全や郷土芸能、伝統文化の伝承	9.1	10.5	11.6	12.1		
公民館などでの講座や教室の内容	9.8	11.1	11.8	13.3	+1.0	
公民館の施設・設備の充実	15.2	20.7	17.7	27.2	+1.0	
公民館の利用時間	12.7	17.6	14.7	23.5	+1.0	
サークル活動団体間の交流やネットワーク	3.7	5.2	5.7	6.2		
体育施設・グラウンドなど施設の充実	10.0	9.6	14.0	15.5	+1.0	
子どものスポーツ活動への支援	9.6	13.0	11.6	17.4	+1.0	
スポーツ・レクリエーション活動への支援	9.4	7.4	11.4	12.9	+1.0	
文化・芸術活動に対する市の支援・情報提供	6.2	6.5	6.7	8.2	+1.0	
子どもに対する文化・芸術活動の充実	6.9	12.7	9.4	18.5		
近隣市町村との連携・施設の相互利用など	4.3	4.9	4.8	5.5		
講師、指導者などの人材情報	3.5	5.6	5.5	7.7		
指導者や芸術家・文化人の招致	3.2	3.7	3.7	4.2		
県や近隣市町村等の講座イベント情報	6.5	5.6	7.0	7.5		

## 6 策定経緯

日時	会議等	内容
令和3年度		
8月11日	第1回 策定委員会	・策定方針及び策定スケジュールについて ・「つくばみらい市教育振興基本計画」に係るアンケート調査について
9月1日(水) ～19日(日)	生涯学習アンケート調査	市内在住の18歳以上1,000人に郵送配布回収 回収数274票(回収率27.4%)
9月21日(火) ～10月3日(日)		不特定の市内を対象にWEB公開 (市ホームページ・SNSで回答を呼びかけ) 回収数52票
9月13日(月) ～26日(日)	学校教育アンケート調査	市立小中学校に通学している小学校2・4・6年生の児童と中学校1・3年生の生徒の保護者 配布数2,547票/回収数1,861票(回収率73.1%)
10月	団体ヒアリング調査 (学校教育関係)	A 学校長グループ(伊奈地区)10月19日(火) B 学校長グループ(伊奈地区・谷和原地区)10月21日(木) C 教職員グループ10月25日(月)
11月5日(金)	団体ヒアリング調査 (生涯学習関係)	社会教育関連グループ スポーツ関連グループ 青少年育成関連グループ の3グループに分けて実施
12月15日(水)	第2回 策定委員会	・「つくばみらい市教育振興基本計画」に係るアンケート調査結果(速報値) ・各種ヒアリング実施結果について
3月17日(木)	第3回 策定委員会	・教育をめぐる社会の現状 ・基本的方向(教育大綱)

日時	会議等	内容
令和4年度		
6月16日(木)	第1回 検討部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期基本計画の見直し案について</li> <li>・重点プロジェクトの見直しについて</li> <li>・後期計画における指標の考え方について</li> </ul>
7月4日(月)	第4回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2章 基本的方向(教育大綱)について</li> <li>・第3章 施策の展開について</li> <li>・後期計画における指標の考え方について</li> </ul>
10月7日(金)	第2回 検討部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回検討部会以降の修正箇所について</li> <li>・基本計画に掲載する目標指標について</li> </ul>
10月17日(月)	第5回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2章 基本的方向(教育大綱)について</li> <li>・第3章 施策の展開について</li> </ul>
11月2日(水) ～8日(火)	第6回 策定委員会	<p>書面会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2章 基本的方向(教育大綱)について</li> <li>・第3章 施策の展開について</li> </ul>
11月28日(月)	第7回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくばみらい市教育振興基本計画後期基本計画(素案)について</li> </ul>
12月12日(月) ～1月12日(木)	つくばみらい市教育振興基本計画に関するパブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくばみらい市教育振興基本計画後期基本計画(案)について</li> </ul>
2月13日(月)	第8回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメント結果について</li> <li>・つくばみらい市教育振興基本計画後期基本計画(案)について</li> </ul>



## 7 つくばみらい市教育振興基本計画策定委員会設置要綱

○つくばみらい市教育振興基本計画策定委員会設置要綱

平成27年10月1日

教育委員会告示第11号

改正 平成31年3月25日教委告示第4号

(設置)

第1条 つくばみらい市教育振興基本計画(以下「基本計画」という。)の策定を円滑に行うため、つくばみらい市教育振興基本計画策定委員会(以下「策定委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会は、つくばみらい市教育委員会の指示及び助言の下に、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 基本計画の策定に関する協議及び調整に関すること。
- (2) 基本計画の原案の作成に関すること。
- (3) 基本計画に係る資料の収集及び作成に関すること。

(組織)

第3条 策定委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長、副委員長及び委員は、次に掲げる職にある者をもって充てる。

- (1) 委員長 教育長
- (2) 副委員長 教育部長
- (3) 委員 市長公室長、総務部長、市民経済部長、保健福祉部長、都市建設部長、生涯学習課長、教育指導課長、市校長会長

3 委員長は、策定委員会の会務を総理し、策定委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平31教委告示4・一部改正)

(会議)

第4条 策定委員会の会議は、委員長が召集する。

2 委員長は、適当と認めるときは、会議に出席することを要する委員を限定して会議を招集することができる。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(検討部会の設置)

第5条 策定委員会は、基本計画の策定に関する事項について調査及び検討を行うため、補助組織としてつくばみらい市教育振興基本計画検討部会(以下「検討部会」という。)を置くことができる。

(検討部会の所掌事務)

第6条 検討部会は、策定委員会の指示及び助言の下に、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 基本計画の策定に関し必要な事項の調査及び検討に関すること。

(2) 基本計画の素案の作成に関すること。

(3) 基本計画に係る資料の収集及び作成に関すること。

2 検討部会の部会長は、前項の規定による所掌事項の実施の状況及び結果に関し、随時、策定委員会の委員長に報告するものとする。

(検討部会の組織)

第7条 検討部会は、部会長、副部会長及び部会員をもって組織する。

2 部会長、副部会長及び部会員は、次に掲げる者をもって充てる。

(1) 部会長 学校総務課長

(2) 副部会長 教育指導課長及び生涯学習課長

(3) 部会員 別表に掲げる課等に所属する職員の中から、所属長が推薦し、策定委員会の委員長が承認する者

3 部会長は、検討部会の会務を総理し、検討部会を代表する。

4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平31教委告示4・一部改正)

(検討部会の会議)

第8条 検討部会の会議は、部会長が招集する。

2 部会長は、適当と認めるときは、会議に出席することを要する部会員を限定して会議を招集することができる。

3 部会長は、必要があると認めるときは、部会員以外の者を検討部会に出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(庶務)

第9条 策定委員会及び検討部会に関する庶務は、学校総務課において処理する。

(平31教委告示4・一部改正)

(補則)

第10条 この告示に定めるもののほか、策定委員会及び検討部会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附則

この告示は、公布の日から施行する。

附則(平成31年教委告示第4号)

この告示は、平成31年4月1日から施行する。

附則(令和4年教委告示第3号)

この告示は、公布の日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

別表(第7条関係)

(令4教委告示3・全改)

秘書広報課	地域推進課	防災課	社会福祉課	こども課	健康増進課	都市計画課	建設課	学校総務課	教育指導課	生涯学習課	市立小中学校
-------	-------	-----	-------	------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	--------

## 8 つくばみらい市教育振興基本計画策定委員会委員名簿

### 【令和3年度】

	職 名	氏 名	備 考
委員長	教育長	福田 敏男	
副委員長	教育部長	飯泉 勝宏	
委員	市長公室長	菊地 龍夫	
委員	総務部長	染谷 武	
委員	市民経済部長	直井 和美	
委員	保健福祉部長	須加尾 博司	
委員	都市建設部長	石島 昭夫	
委員	教育指導課長	大藤 正晴	
委員	生涯学習課長	関 正臣	
委員	市校長会長	豊嶋 俊彦	伊奈東中学校 校長

### 【令和4年度】

	職 名	氏 名	備 考
委員長	教育長	町田 幸子	
副委員長	教育部長	鈴木 富夫	
委員	市長公室長	菊地 龍夫	
委員	総務部長	古谷 隆夫	
委員	市民経済部長	直井 和美	
委員	保健福祉部長	草間 節	
委員	都市建設部長	飯泉 隆	
委員	教育指導課長	櫻井 芳則	
委員	生涯学習課長	大山 茂	
委員	市校長会長	栗原 繁則	小絹中学校 校長

---

---

## つくばみらい市教育振興基本計画(後期基本計画)

---

発行 2023年(令和5年)3月  
発行者 つくばみらい市教育委員会 学校総務課  
〒300-2395 茨城県つくばみらい市福田195番地  
TEL: 0297-58-2111(代)  
<http://www.city.tsukubamirai.lg.jp/>

---

---

**I LIVE IN  
TSUKUBA  
MIRAI.**